



高知学園大学 高知学園短期大学

Kochi Gakuen University & College



〒780-0955 高知県高知市旭天神町292-26 学生支援課
TEL 088-840-1664 FAX 088-840-1231
 または
<https://www.kochi-gu.ac.jp/> <http://www.kochi-gc.ac.jp/>



高知学園短期大学 副学長
山下 文一



参与
二宮 久美



学生部長
矢野 智恵



教務部長
吉村 齊



図書館長
生島 淳



キャリアセンター長
大野 由香

安全・安心な教育・研究・学習環境づくりに向けて

令和2年度には、国内外では何度も、新型コロナウィルス(COVID-19)の感染拡大に見舞われ、現在も先の見えない状況が続いています。私たちの生活は一変していました。このような状況の中、大学・短大などの多くの高等教育機関では、オンラインによる授業が日常的なものとなっていました。しかし、高知学園大学及び高知学園短期大学では、でき得る限りの感染予防対策を講じながら、昨年の5月半ばから対面授業を続けてきました。幸いにも、夏休みもほとんどないような変則的な授業日程や一部の学科では臨地実習を実施することができないなどの困難を乗り越え、教職員や学生の日常的な感染予防の努力により、学内において感染者が確認されることなく、令和2年度後期の授業をなんとか終えることができました。

令和2年度当初には、授業実施やその方法について、多くの議論がありました。遠隔授業の実施には、確かに設備等の面で課題があったこともあります。高知県での感染状況や新入生への影響なども考慮に入れつつ、関係者とも相談の上、対面授業の実施を決意したのは、私たちの大学及び短大が、「人間や人間の命と向き合う」専門的職業人を育てることを使命としていることから、対面授業を続ける中で感染予防に対する知識、スキル及び態度を日常的に学びとができるのではないか、と考えたからです。

ワクチン接種がやっと始まりましたが、まだまだ先の見えない状況が続いていくでしょう。これまでの体験を通した感染予防についての日常的な学びを生かし、また、その学びを行動を通して、令和3年度の新入生に伝えつつ、教職員と学生が一体となって、安全で安心な学習環境づくりを進めていきます。

持続可能な開発目標(SDGs)の達成への取組み

令和2年12月1日に「私たち高知学園は、『世界の平和と友愛』を建学の精神とし、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学・専門職大学・大学を擁する教育機関として、持続可能な社会の実現に向け、教職員と学生・生徒・児童・

園児が連携・協働し、全学園を挙げてSDGs活動に取り組み、社会で活躍し、信頼される人財を育成していきます。」として、SDGs(持続可能な開発目標)への取組みを宣言しました。SDGsは、「誰一人取り残すことなく」人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標であり、17のゴール(目標)と具体的な169項目のターゲット(達成基準)があります。

高知学園大学及び高知学園短期大学では、このような取組み宣言の趣旨に沿い、「すべての人に健康と福祉を」というゴール3の達成に向けて令和3年度から健康教育についての研究を本格的に始めようとしています。この研究の成果を近い将来大学や短大における「人間や人間の命と向き合う専門家」の養成教育に、さらには、地域の人々の健康と福祉の増進をめざす本学の地域貢献活動に反映していきたいと考えています。

私たちの使命は「人間や人間の命に向き合う専門家」を育てること

これまで経験したことのなかった先の見えない状況の中で、「人間や人間の命と向き合う仕事」が、安全・安心な社会にとって、どれほど重要なことか、さらに、高知学園大学と高知学園短期大学が社会的に果たさなければならない使命は、まことに大きいものがある、ということを私たちは今ひしひしと感じています。困難な状況であっても、そこから何かを学び取り、その学びを糧として「人間や人間の命と向き合う専門家」を高知学園関係者、本学の教職員、学生、さらに地域の人々と連携・協働し、安全・安心な教育・研究・学習環境の下で育てていくことが、本学の社会的使命を果たすことであると確信しています。

高知学園大学
高知学園短期大学
学長 近森 憲助

大学の沿革と建学の精神

History & Philosophy



創立者
信清権馬



初代学園長
川島源司



明治、大正、昭和、平成そして令和へと続く歴史と伝統

学校法人高知学園は、明治32年(1899年)に創立された江陽学舎がその源です。培われた教育と社会貢献の実績を礎として、昭和42年(1967年)に高知学園短期大学が設立されました。

高知学園短期大学は、栄養士養成を中心とした食物栄養科から始まり、衛生検査技師(後の臨床検査技師)の養成を行う衛生技術科、幼稚園教諭や保母(後に保育士)の養成を行う幼児教育科、そして歯科衛生士や養護教諭等の養成を行う保健科を次々と設置するなど、「食」「教育」「医療」から構成される総合的な短期大学として発展してきました。

いずれも実学を主体とした教育を行い、各学科で固有の職業資格(国家資格)を取得して社会に貢献できる人材を送り出していました。この卒業生たちが高知県内のさまざまな分野で地域社会の発展に全力を注いてきました。また、現在も中心的役割を担って活躍しています。

高知学園短期大学としての歴史も50年余を超えるました。今日に至るまでの社会のニーズや時代の変化はたいへん激しく、本学もその時代に適した短期大学としての役割を絶えず考えなければなりません。そこで令和2年(2020年)には、科学的根拠に基づく実践力をさらに高めた専門的職業人を輩出するため、高知学園大学が設立されました。これらの発展を遂げる過程で常に支えとなってきたのが建学の精神に掲げられている「世界の平和と友愛の精神」です。

建学の精神「世界の鐘」に刻まれた銘

昭和32年3月、現在の場所(旭ヶ丘)に高知学園が移転した時

に、教育の象徴として常に精神的な拠り所となり、永久に記憶の中に生きるものとを考え「世界の平和と友愛」の願いを込めて、世界25カ国85校のハイスクールからその国の銅貨の寄贈を仰ぎ、それを鋳込んで出来たのが、この世界の鐘です。

平成17年11月には、世界40カ国から贈られた銅貨をもって、初代の鐘の精神を受け継ぎ二代目の鐘が鋳造されました。「この鐘の音のとどろくところ、永遠の真理と希望にかがやき、世界の平和と友愛にみつ」と刻まれた鐘は、1日2回、澄んだ音色を響かせています。

この銘を建学の精神とし、高知学園短期大学・高知学園大学が誕生しました。そして、人類の福祉と文化の進展に寄与することを教育目的として掲げ、「平和と友愛の精神」を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成することが示され、現在も本学の教育基本方針として受け継がれています。

高知学園大学と高知学園短期大学との連携

高知学園短期大学の生活科学学科(2年制)と医療衛生学科医療検査専攻(3年制)の学科および専攻科を、より高度な専門性を求める社会のニーズに対応させるため、高知学園大学健康科学部管理栄養学科と臨床検査学科として設置することとし、令和2年(2020年)4月、高知学園大学が誕生しました。

設立当初から核となっている「食」「教育」「医療」を基本とするこことを忘れず、より高度な教育課程を目指して発展してきました。

現在構成されている高知学園大学健康科学部管理栄養学科、臨床検査学科と高知学園短期大学の幼児保育学科、歯科衛生学科、看護学科および専攻科(応用生命科学専攻、地域看護学専攻)とが密接に連携しながら「健康教育」をテーマに高度で幅広い専門性を身につけた人を養成していきます。



江陽学舎



開学当時の高知学園短期大学



耐震補強された学舎



充実した実習環境



桜咲くキャンパス



開学した高知学園大学(8号館)

高知学園大学、高知学園短期大学のあゆみ

●江陽学舎を源流として明治に創設される

1899.4 源流となる江陽学舎創立



学校法人高知学園へ組織変更

●高知学園短期大学誕生

1956.5 食物栄養科設置認可

高知学園短期大学を開学

1967.1 衛生技術科設置認可

1967.4 幼児教育科設置認可

1968.2 保健科設置認可

1969.2 保健科に保健専攻、歯科衛生専攻設置

1970.1 保健科設置認可

1987.12 保健科に保健専攻、歯科衛生専攻設置

●高知幼稚園を高知学園短期大学附属高知幼稚園と改称

1995.4 専攻科応用生命科学専攻設置

2001.4 食物栄養科を生活科学学科に、
2005.4 幼児教育科を幼児保育学科に科名変更

2006.4 医療衛生学科設置

2008.4 看護学科設置

2011.4 専攻科地域看護学専攻設置

●高知学園短期大学創立50周年

2017.4 生活科学学科、医療衛生学科医療検査専攻を
2018.6 高知学園大学健康科学部として申請

●高知学園創立120周年

2020.3 3度目の認証評価「適格」認定を受ける

●高知学園大学誕生

2020.4 健康科学部管理栄養学科、健康科学部臨床検査学科設置
高知学園短期大学 医療衛生学科歯科衛生専攻を
歯科衛生学科に科名変更



"Watashirashiku"

多様性のある社会で求められる協調性や
調整能力に輝く個性を生かして
大海原へ漕ぎ出しましょう。
私たち大学はその羅針盤になり
みなさんの夢の実現に向けて
一緒に帆を上げて進んでいきます。

Kochi
Gakuen
University



科学のチカラを 人のいのちに。

高知学園大学

健康科学部
Faculty of Health Sciences

管理栄養学科
Department of Nutrition

臨床検査学科
Department of Medical Laboratory Science



学びの特色

Learning of Features

科学的根拠に基づいて判断できる主体性を育む

実社会では、あらゆることを想定して対応する力が求められます。

人生の分岐点では、常に選択が求められ、答えが1つとは限らない場面もあれば、答えがあるかすらもわからない場面に出くわします。これらに直面した時、視野を広げ、多様な価値観に気づく思考力が必要とされます。

今後、社会の変化に対応するためには、専門的知見に基づいて自らが状況を判断し、実行していく力が不可欠であり、科学的根拠に基づく考察力と判断力が求められます。本学では、これらの思考過程も研究的視野と位置づけ、教育課程を通して育成していきます。

さらに、3年次以降には学術論文を講読して最新の研究動向を学び、考察を積み重ねながら、自分の意見を主体的に発信する演習を進めることで、研究的視野に基づく実践力を育成していきます。

学生のみなさんが正しい研究倫理に基づいて専門的知識や技術を活用し、実践力を高めることを実現するよう、課題探究と問題解決に取り組む「主体性」を育んでいきます。

「人々の健康的な生活を支援するための責任感と倫理観」を育む

専門職として役割を果たすために必要な資質は、専門的知識や技術のみではなく、職責を果たす強い責任感、正しい倫理観に基づいた問題解決能力、また科学的思考及び豊かな人間性を育むことを目標にしています。

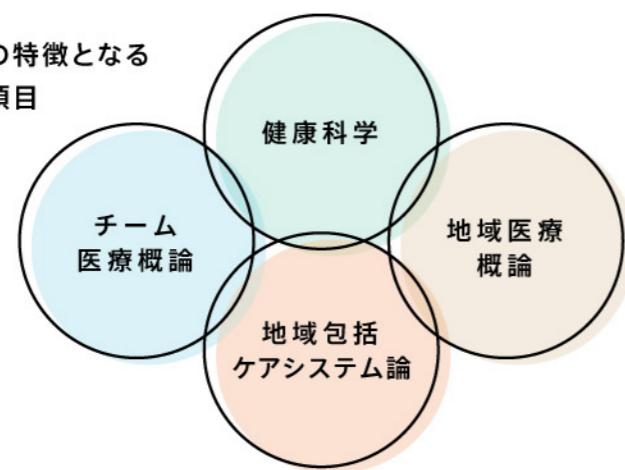
そのため両学科に共通して「健康科学」を必修科目として開講し、人々の健康的な生活に寄与する多様な視点と、支援を行う責任感と倫理観を養います。

また、災害発生に伴う生活の変化や被災者に寄り添うことのできる知識や技術及び人間性が必要なことから、「災害と生活」を設置します。

また、高知学園短期大学の健康教育と協働し、看護、歯科衛生、教育及び保育も含めた広い視点から自分たちの専門性の役割を認識する教育課程外活動を取り入れます。これまで、子どもの健康を支えるための「歯みがき指導」、高齢者を対象とした健康増進に関する「健康教育演習」や「イキイキ健康フェア」の実践によって地域貢献に努めてきました。

高知学園短期大学や両学科との協働で気づき学んだ事項を基盤に、さらに洗練して医療技術の高度化と科学的思考に基づく分析を行いながら、地域の特性や現状の理解に基づく健康支援に貢献することを目指したアクティブ・ラーニングを演習等で取り入れています。

健康科学部の特徴となる二学科共通項目



学科横断

大学一短期大学間の連携教育

「チーム医療」及び「地域医療」は、特に高齢化先進県である高知県においては重要な意味を持ちます。高知県の「日本一の健康長寿県構想」においても、医師や看護師だけでなく、臨床検査技師や管理栄養士等の医療スタッフが重要な役割を持ちます。

そのため両学科に共通して「健康科学」を必修科目として開講し、人々の健康的な生活に寄与する多様な視点と、支援を行う責任感と倫理観を養います。

また、災害発生に伴う生活の変化や被災者に寄り添うことのできる知識や技術及び人間性が必要なことから、「災害と生活」を設置します。

また、高知学園短期大学の健康教育と協働し、看護、歯科衛生、教育及び保育も含めた広い視点から自分たちの専門性の役割を認識する教育課程外活動を取り入れます。これまで、子どもの健康を支えるための「歯みがき指導」、高齢者を対象とした健康増進に関する「健康教育演習」や「イキイキ健康フェア」の実践によって地域貢献に努めてきました。

高知学園短期大学や両学科との協働で気づき学んだ事項を基盤に、さらに洗練して医療技術の高度化と科学的思考に基づく分析を行いながら、地域の特性や現状の理解に基づく健康支援に貢献することを目指したアクティブ・ラーニングを演習等で取り入れています。



高知学園大学の教育目的と教育基本方針

高知学園の象徴、「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成します。

【教育目的】

高知学園大学(以下「本学」という。)は、建学の精神である「世界の平和と友愛」に基づき、教育基本法及び学校教育法の定めるところに則り、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究し、実践的な幅広い能力と知的、道徳的及び応用的能力を展開することのできる人材を養成し、もって人類の福祉と文化の進展に寄与することを目的とする。(高知学園大学学則第1条)

【教育基本方針】

高知学園の象徴、「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成する。(高知学園大学の教育目的に関する規程第2条)

学科の教育目的

(高知学園大学の教育目的に関する規程第3条)

■ 健康科学部管理栄養学科

管理栄養学に関する講義・演習・実習を通して、食と栄養に関わる専門的知識と技術を習得するとともに、健康維持・増進の重要性を理解し、保健・医療・福祉・教育・行政及び企業等の多岐にわたる業務に貢献できる実践力を備えた管理栄養士を養成する。

■ 健康科学部臨床検査学科

医学及び臨床検査に関する講義・演習・実習を通して、生命の仕組みと疾病の成り立ち及び予防に関する専門的知識と技術を習得するとともに、健康維持・増進の重要性を理解し、高度化・多様化する現代医療に貢献できる実践力を備えた臨床検査技師を養成する。



I HAVE A DREAM.
私らしく。

人々のいのちと健康を
根底から支える管理栄養士になる。

健康科学部

管理栄養 学科

Department of Nutrition

生命の根幹である基本的な「食」と
「栄養」について学び、さらに
健康・医療・福祉に貢献できる
栄養管理のスペシャリストを目指します。

■管理栄養学科の教育目的

管理栄養学に関する講義・演習・実習を通して、
食と栄養に関わる専門的知識と技術を習得するとともに、
健康維持・増進の重要性を理解し、保健・医療・福祉、教育、
行政及び企業等の多岐にわたる業務に貢献できる
実践力を備えた管理栄養士を養成します。

■管理栄養学科の教育の特色

健康科学部管理栄養学科では、食・栄養を通して人びとの
健康に貢献するために、豊かな教養と人間性に溢れ、
高い倫理観及び専門的知識・技術を備え、医療や社会の様々な
ニーズに対応できる管理栄養士の育成を目的としています。

- 保健・医療・福祉におけるチーム医療スタッフとしての役割を理解し、
栄養管理の実践力の向上を目指します。
- 管理栄養士の持つ専門的知識・技術を通して、地域住民の
健康と生命をサポートし、地域貢献ができる教育を実施します。
- 地域の医療機関との包括的な連携により教育研究を推進し、
学生教育にフィードバックします。
- 食育に造詣の深い管理栄養士を養成します。





MESSAGE

食・栄養のスペシャリストとして
社会に貢献できる
管理栄養士を目指して

健康科学部
管理栄養学科 学科長
渡邊 慶子

高知学園は、建学の精神を理念とした地域社会に貢献できる人材の養成を行う、高等教育機関として、昭和42年に高知学園短期大学が創設され、設置学科は栄養士養成の食物栄養科からスタートし、これまで多くの卒業生が医療機関、高齢者施設、学校等で栄養士、管理栄養士として活躍しています。

近年、高齢化による慢性疾患の増加や疾病構造の変化など、食・栄養に関する対応が複雑化してきており、高度な専門知識や技術を備えた管理栄養士の役割や期待が益々高まっていることから、令和2年度より管理栄養士養成の大学を開設しました。

本学科の特徴は、選択により教職課程を受講することで、栄養教諭一種免許状、中・高等学校教諭一種免許状(家庭)の資格が取得できることです。従って、卒業後は管理栄養士の資格を有する教員として、教育現場で食・栄養の専門知識と技術を生かして幅広く活躍することができます。

管理栄養士は食・栄養のスペシャリストとして、健康の維持・増進と疾病の予防・治療等を目的に、医療施設・福祉施設・学校・行政・企業などで幅広く活躍できる職種です。医療施設で働く管理栄養士は、「栄養サポートチーム」で中心的な役割を担っており、病気の治療効果につなげるために、患者さん個々の病状や臨床検査データ

等に基づき、栄養アセスメント、栄養管理を行っています。

その他、学校や企業、保健所などでは、食と栄養の力で地域の健康づくりを推進するために、妊婦から高齢者まで、それぞれのライフステージに合わせた栄養の指導、健康な体づくりの支援など多岐にわたります。そのために、管理栄養学科では、栄養学の基礎から医療へと体系的に学べるよう管理栄養士資格取得に必要な専門科目に加え、医療や疾病を理解する科目「疾病論」「がんと栄養療法」、「口腔ケアと栄養」「地域包括ケアシステム論」「地域医療概論」などの他、多職種と協働するための「チーム医療概論」など、他大学にはない特徴的なカリキュラムを配置し、地域医療や在宅医療における実践的な専門知識と技術が習得できるようにしています。

さらに、郷土食の探求と継承を目的とした科目「土佐の食文化」と、予測される南海地震に備えた「災害と生活」を学習することで、さまざまなフィールドで地域貢献できる管理栄養士を育成しています。

本学科には研究、教育における豊富な実績を持つ教員を数多く配置しており、専門性の高い知識と技術が習得できると確信しています。是非、本学科で食・栄養のスペシャリストとして、社会で活躍する管理栄養士を目指してみませんか。

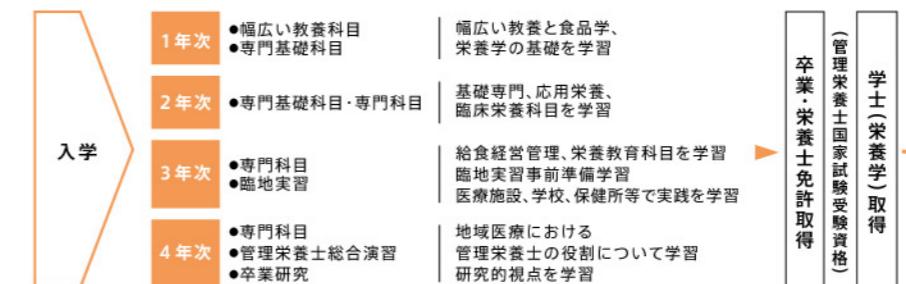


QUALIFICATION 取得可能な免許・資格

- 学士(栄養学)
- 栄養士免許証
- 管理栄養士国家試験受験資格
- 栄養教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状(家庭)
- 高等学校教諭一種免許状(家庭)

CAREER DESIGN

管理栄養士免許取得とその後の進路



卒業と一緒に栄養士免許証取得、管理栄養士国家試験の受験資格を取得

※選択により栄養教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(家庭)、高等学校教諭一種免許状(家庭)を取得



管理栄養学科 教授
医師(医学博士)
松浦 喜美夫



管理栄養学科 教授
宮本 恵美

地域で輝ける管理栄養士を目指して

食は生きる上で基本的な行いで生涯にわたり営まれます。健全な食生活は人生に豊かさやうるおいや健康の喜びを与えてくれます。

しかし現代では、色々な食品が容易に手に入り、不健全な食生活による生活習慣病等が問題になっており、子どもからの食に対する教育「食育」が必要とされています。一方で高齢者においては、食事の量が減り低栄養の人も多くなっており、食習慣や食・栄養管理の大切さが叫ばれています。また、食物の成分が分子レベルまで解析され、食物の消化吸収・タンパク質の合成メカニズム、食品の生体に及ぼす影響等などが解明され、多くの健康食品などが開発されています。

さらに医療現場においても、栄養面から病気の研究が進み、栄養障害が治療に大きく関わることが判明し、栄養評価による、疾患毎の適切な栄養マネジメントが非常に重要となってきています。

このような社会情勢の中で管理栄養学科では、地域の食文化や食に関わる地域活動などから、栄養の大切さについて、地域にあった健康増進法を学んで頂きます。また管理栄養士として、科学的根拠に基づいた知識を身につけて頂き、その知識を活用し、食のスペシャリストとして、患者さんの栄養評価、病態に応じた栄養管理・指導の実践を学んで頂きます。

卒業後は学んだことを生かし、施設では、多職種によるチームの一員として、患者さんの治療に参加し、栄養面を中心的な役割を担っていただき、また地域では、住民の健康を支えるエキスパートとして活躍できる人材を育てるこをを目指しています。皆さんと一緒に、共に学び、共に考え、成長しあえればと願っています。

みなさんは管理栄養士についてどのようなイメージを持っているでしょうか。管理栄養士は、病院等の医療現場で栄養の指導や栄養管理を行うだけでなく、様々な職域で食と栄養のスペシャリストとしての活躍が期待されています。食と栄養は健康寿命に大きく関わり、人が健全な生活を送るために欠かせない要因の一つに食品があります。

食品には3つの機能があるとされています。1つめの機能は栄養素が摂取できる栄養機能、2つめの機能はおいしく食べができる嗜好機能、3つめの機能は、特定保健用食品(トクホ)や機能性表示食品として注目されるようになった、様々な体の調子を整える生体調節機能です。私が担当している食品学の分野では、講義や実験からこれらの機能性成分や食品成分変化の他、食品と健康に関する要因を理解し、将来管理栄養士として正しい食品の選択や摂取の提案ができるように学習します。

管理栄養士になるためには食品学以外にも非常に幅広く多くの知識や技術を習得し、国家試験に合格する必要があります。夢を叶えるためには様々な困難もあるかと思いますが、本学科では、みなさんは管理栄養士として将来活躍したいという同じ目的をもった仲間たちと協働、切磋琢磨しながら学んでいくことができます。教員は、それぞれの専門分野や学生生活指導などの面からみなさんの卒業後の夢が叶えられるように精一杯支援します。





健康科学部

臨床検査 学科

Department of Medical Laboratory Science

病気の診断と治療に必要な
臨床検査について学びます。

■臨床検査学科の教育目的

医学及び臨床検査に関する講義・演習・実習を通して、生命の仕組みと疾病の成り立ち及び予防に関する専門的知識と技術を習得するとともに、健康維持・増進の重要性を理解し、高度化・多様化する現代医療に貢献できる実践力を備えた臨床検査技師を養成します。



■臨床検査学科の教育の特色

健康科学部臨床検査学科では、臨床検査を通して、高度化・多様化する現代医療に貢献するために、人々の健康維持・増進の重要性を理解し、豊かな教養と人間性を備え、実践力に富む臨床検査技師の育成を目的としています。

- 臨床検査技師の持つ高度な専門的知識・技術を通して、地域住民の健康と生命をサポートし、地域貢献に繋げる教育を実施します。
- 広い視野と研究的視点を育む教育を実施します。
- チーム医療スタッフの役割の理解とその一員としての実践力の向上を目指します。

■臨床検査技師養成指定大学

本学は、臨床検査技師養成校として文部科学大臣から指定されています。指定校は、文部科学省において定められたカリキュラム、教員組織、施設・備品などが整備された教育環境で臨床検査技師養成を行うことを保証するものです。本学では、これらの教育環境に加えて、大学教育として幅広い教養科目やチーム医療概論、地域医療概論、卒業研究などのカリキュラムを整備しており、広い視野から現在の医療に貢献し、将来の医療の発展を支える人材養成を行います。

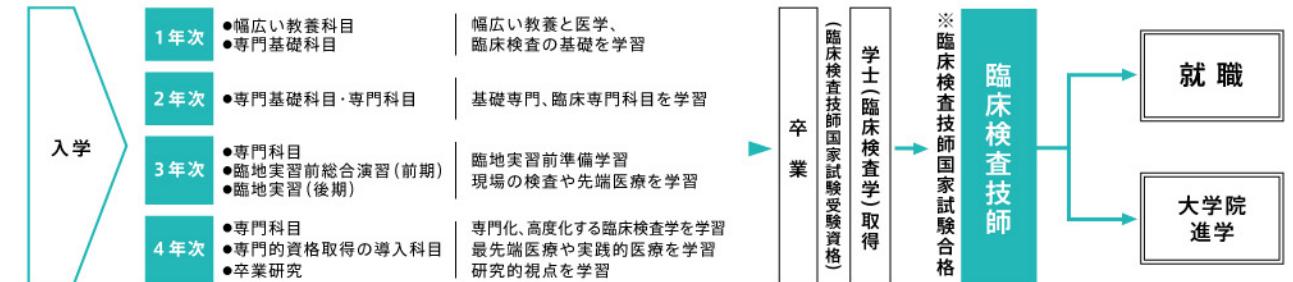


QUALIFICATION 取得可能な資格

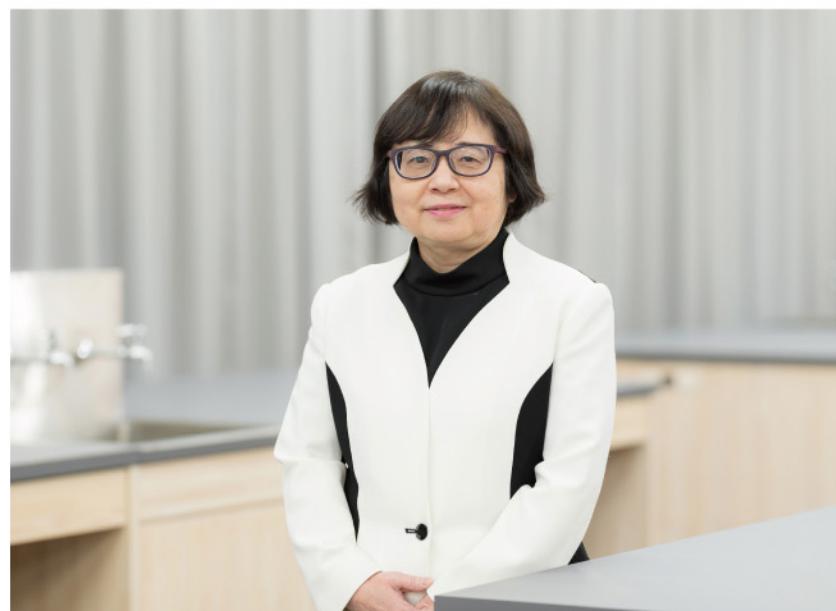
- 学士(臨床検査学)
- 臨床検査技師国家試験受験資格
- 健康食品管理士認定試験受験資格
- 遺伝子分析科学認定士受験資格
- 中級、上級バイオ技術者認定試験受験資格

CAREER DESIGN

臨床検査技師免許取得とその後の進路



4年間で高度な臨床検査学の専門性を習得、さらに学士と臨床検査技師国家試験受験資格を取得



MESSAGE
臨床検査技師を目指す
皆さんと共に。
身体からのシグナルを
捉える医療専門職を目指して。

健康科学部
臨床検査学科 学科長
富永 麻理

高知学園大学健康科学部臨床検査学科は、令和2年4月に4年制大学として発足した新しい大学です。しかし、臨床検査技師養成校としては50数年の歴史があります。前身の高知学園短期大学医療衛生学科医療検査専攻を引き継ぎ、その間に輩出した約2500名の卒業生は、全国の病院、検査センター、臨床検査関連機器メーカー、大学などの教育研究施設で活躍しています。

臨床検査技師は、医師が病気の診断や治療方針の決定、経過観察や治療効果の判定を行うために必要な検査を行います。具体的には、患者さんから取り出された検体に含まれる成分を分析したり、細胞を観察したり、検査機器を用いて患者さんの臓器や血管の働きを調べたりすることで、患者さんの身体から発信される病気のシグナルをいち早く捉え、検査結果という形で医師に情報を提供する医療専門職です。

本学科が、「身体からのシグナルを捉える臨床検査技師として活躍したい」という皆さんの想いを実現する場となることを確信しています。



臨床検査学科 教授
山中 茂雄

医療の現場で求められている、自律と協働を実践できる
臨床検査技師を養成します。

最近話題になっている新型コロナウイルスに関するPCR検査で臨床検査技師が注目されるようになり、メディアでもとりあげられる機会が増えたように思われます。臨床検査技師の活躍の場が多く、代表的なのは病院、検査センター、保健所などです。

また、病気の早期発見に有効な健康診断や人間ドックはもちろんのこと、製薬会社や医療機器メーカーで活躍している臨床検査技師もいます。医療現場における臨床検査技師の仕事は、検査室内での業務だけでなく、PCR検査などに必要な検体採取や病棟での業務、在宅医療など、医療技術の進歩や分業化により、取り扱う検査対象はますます広くなっています。

私は2020年3月まで臨床検査技師長として大学病院の検査部に勤務しておりました。今、医療の現場で求められている臨床検査技師とは、医学・科学に関して興味をもち、その知識と技術の習得に積極的で、正確性、客観的な思考力、探究心、協調性のある人であることはもちろんのこと、コミュニケーション力や人間力、人の気持ちを思いやり、人のために役立ちたいという志を持った人材です。こうした中で、臨床検査学科では、これらの知識・技能・接遇力を持ち合わせた人材を育成することを使命とし、大きく成長・飛躍できるように全力をあげて応援していきます。興味のある方は是非、私たちと一緒に学びませんか。



臨床検査学科 助教
松崎 梢

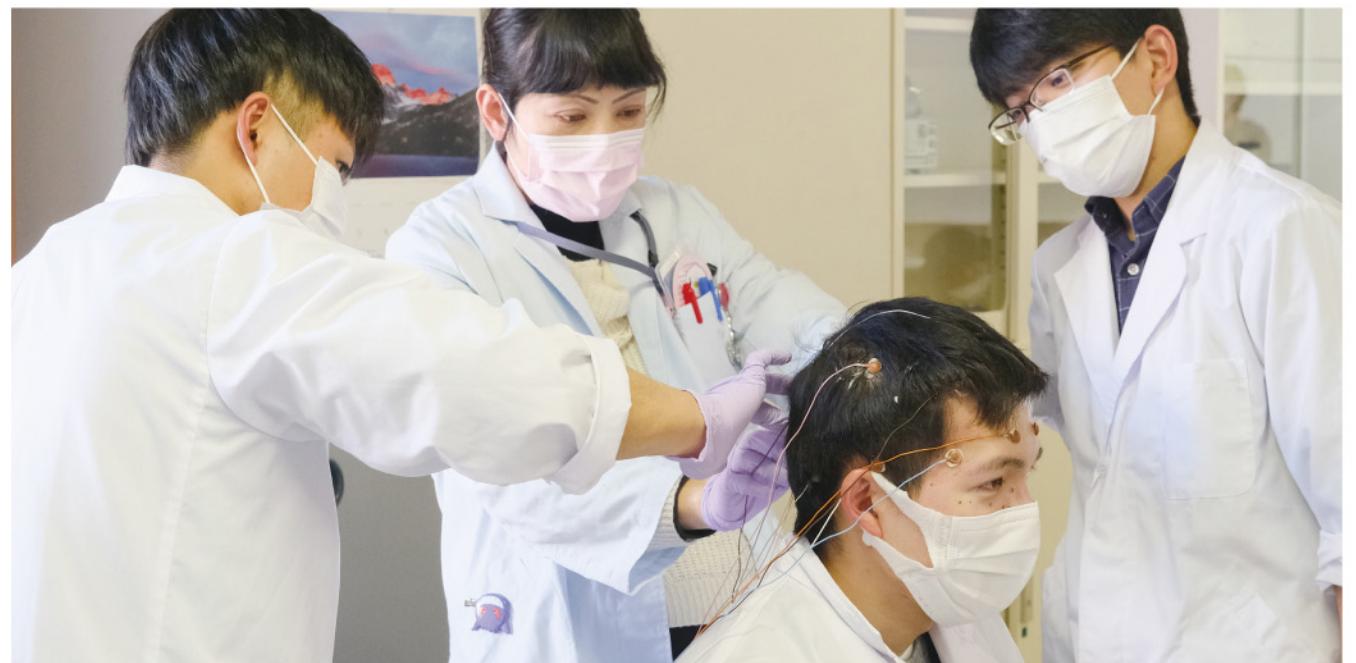
医療や研究分野で活躍できる検査のスペシャリストを養成します。

このページを読んでいる皆さん、臨床検査技師という職業について興味を持ってくださっていると思います。臨床検査技師の仕事はとても奥が深いことはご存じでしょうか? 身近なところでは病院や健康診断で検尿や採血をし、その検査を行っているのは臨床検査技師です。また、最近では新型コロナウイルスに関するPCR検査といった遺伝子検査を担っているのも臨床検査技師です。

臨床検査技師は病院業務だけでなく研究所や大学での研究や分析など幅広く活躍しています。臨床検査技術は多岐にわたり、様々な分野に応用することができる専門性に特化しています。みなさんが入学してからの学生生活では、専門科目の講義・実習を通して多くの検査技術を学び専門力を身につけます。そのなかで学ぶ楽しさや何よりもやりがいを感じもらいたいと思っています。そして、地域や社会に貢献し、人々に寄り添える臨床検査技師を目指してほしいと考えています。

私自身も本学の卒業生で、ここで学んだことを生かして、医療従事者として患者さんに携わった経験だけでなく、健康維持につながるような肥満予防や認知機能・リハビリの研究から、生命の起源・進化を探る研究まで多くの分野に携わってきました。これらの経験は、今の私自身の原動力になっています。

私たちは、みなさんが医療や研究分野で活躍できる検査のスペシャリストを目指せるよう応援していきます。



OB&OL MESSAGE 臨床検査技師の可能性はどこまでも



国立大学法人東京医科歯科大学
医学部附属病院救命救急センターCRC
国立大学法人筑波大学
数理物質工学支援室 出向先
国立感染症研究所協力研究員
公立大学法人埼玉県立大学
健康開発学科検査技術科学専攻
非常勤講師

林 蔡子
衛生技術科卒

あこがれた私は、高知学園短大を卒業し、検査技師の大学に編入しました。その後病院で20年ほど、働きながら40歳で大学院にも通いました。現在、臨床検査技師の知識と経験で大学病院の救命救急センター(ER)でCRC(臨床研究コーディネーター)と、国立感染症研究所で協力研究員、医療系大学で非常勤講師をしています。医療最前線のERや日本屈指の国際的研究者とのマラリア研究など、やっと当時の夢に少し近づいたかなと思います。どこかで必ず人の役に立てるこんなにもやりがいのある職業を、私はぜひお勧めしたいです。

OB&OL MESSAGE 臨床検査技師として医療人として



高知医療センター
医療技術局長

岡田 由香里

習に多くの時間を使って正確で丁寧な技術の習得に努めます。100万分の1グラムにこだわり再現性や正確性を追求し、就職後はさらに迅速性を身に着けます。

私が就職した頃は“縁の下を支える”存在でしたが、現在はチーム医療の一員として患者さんや他職種と連携しています。ヘリ搬送で手術をされた患者さんに「空から入院したけど、今日は玄関から歩いてきたよ」と声をかけていただいた時はとてもうれしかったです。

私たちは直接治療することはできませんが、患者さんの笑顔のためにデータに価値を持たせ日々頑張っています。ぜひ多くの方が興味を持って挑戦していただけますよう願っています。

特徴的なカリキュラム CURRICULUM

遺伝子染色体検査学・ 遺伝子染色体検査学実習

ゲノム医療など臨床現場で求められる遺伝子検査の知識、技術、解釈を学ぶ。

遺伝子検査に必要な基本的技術や日常検査に導入されている遺伝子検査の実際と結果の解釈について学習します。実習では、核酸の抽出・精製や様々な遺伝子解析技術を行い、遺伝子検査の基本的技術と各解析技術の特徴を実践的に学びます。

さらに遺伝性疾患、多型解析、腫瘍関連遺伝子および感染症の診断に必要な分子遺伝学的な基礎知識や倫理的問題についても知識を深めます。遺伝子分析科学認定士の資格取得に重要な授業です。

細胞検査学

がん検診のスクリーニングに重要な、実践的な細胞診断の基礎知識と技術を学ぶ。

細胞学的検査法(細胞診)は、がん検診のスクリーニングをはじめ、臨床検査技師が診断に関わる非常に重要な検査です。細胞診に必要な解剖学、組織学的構造を理解し、実践的な細胞診断の基礎知識と技術について学びます。

画像検査学・画像検査学特論

将来の超音波検査士の資格取得を目指して、実践的な知識と技術を習得。

臨床検査技師に求められる超音波検査、磁気共鳴画像検査(MRI)、熱画像検査(サーモグラフィー)、眼底検査について学びます。関連する画像検査法についても学習し、疾患を分析する能力を培います。超音波検査、CT、MRI、心カテーテル、マンモグラフィなどの画像から疾患を分析し、生化学検査値、患者さんの状態も合わせて考える力を養成します。

医療情報学・医療検査情報システム論

医療データの管理技術、情報処理技術、解析技術について学び、医療情報技師の資格取得を目指す。

膨大に発生する医療データは、臨床診断や医療経営に重要な情報を生み出しています。これらを解析して、エビデンスに基づく医療を行うことが求められています。授業では、医

療データの性質、データの管理技術、情報処理技術、データ解析技術について学び、問題に対して、科学的根拠に基づいて対処ができる方法を学びます。そして、各種疾患と検査の関係を考察し、説明できる力を養成します。

病態解析学特論

医療情報を収集し、疾患を総合的に把握するために必要な病態解析能力を養う。

医療現場で臨床検査技師として活躍するためには病態解析能力が必要です。授業では、疾患を総合的に把握するための演習を行います。疾病の原因、検査結果、臨床病態、診断法、治療法、転帰、疫学的データ等の医療情報を収集してまとめ、発表することができる力を養います。

また、現代社会が抱えている貧困と病気などの疾病構造や、医療の現状について考察できることを目指します。

臨地実習

医療現場において実践的な技術と知識を習得し、チーム医療における臨床検査技師の役割を学ぶ。

臨床検査の実践力を身に付けるために、臨床現場における日常業務、患者接遇を通して臨床検査技師の果たす役割を理解します。さらに医療人としての自覚と倫理観を養い、人間性の向上を目指します。

現代医療の中でチーム医療における臨床

検査技師の職責を理解し、医療現場に対応できる基本的な技術と知識を習得し実践できる力を養成します。

生殖医療概論

最新の生殖発生学の医学的知識を習得し、将来、胚培養士の資格取得を目指して、生殖補助医療についても学ぶ。

細胞工学を医療に適用する技術が進歩し、生殖医療や再生医療が実用化されています。「生殖」を中心とした解剖学・生理学・発生学の基礎から、最新の医学として生殖細胞や幹細胞、再生医学を学びます。また、不妊治療を中心にした生殖医療について、さらに、生殖医療における倫理的・社会的問題についても学びます。

健康食品総論

健康食品についての正しい知識を習得し、健康食品管理士の資格取得を目指す。

近年、体内調節機能を意図した食品の研究が進み、健康保持および増進に寄与する健康食品が多く開発されています。国民の健康意識が高まる中、健康食品について正しい知識を持ち、食の安心を提供する相談員の養成が望まれています。

授業では、栄養学、食品学の基礎を理解し、摂取者の栄養状態を客観的に評価できる検査の基礎知識をもとに、健康食品の有用性および安全性について評価・説明できる力を養成します。



高知学園大学健康科学部が定める 学習成果と方針

Our Policy

高知学園大学 健康科学部

■学習成果

高知学園大学では、建学の精神である「世界の平和と友愛」に貢献するため、本学で学ぶことによって獲得する能力を「学習成果」と位置づける。

健康科学部では、教育目的に基づき、科学の力を活用し、人々の健康な生活を支援することで、地域社会はもとより、世界の平和と友愛に貢献する人材を育成するため、本学における教育と学習を通じて次の四つの能力を獲得することができる。

- ①人々が健康な生活を送るために必要な知識と技術を身につけ、その内容と意義を説明することができる。
- ②社会の状況を積極的に受け入れる柔軟な感性を持ち、周囲に広げていくことで、人々が豊かな生活を送るために必要な最新の知見を導き出し、適切な判断を下すことができる。
- ③仲間と協働しながら専門的知識と技術を活用して創造し、倫理的な観点に基づいて自ら行動することができる。
- ④自分の意見を的確に伝えるとともに、隣接・関連分野の人々からも意見を聞くことによって、相互に理解し尊重し合いながら自分の役割を果たすことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

高知学園大学では、学習成果を獲得することによって、卒業時に期待される人物像を「卒業認定・学位授与の方針」として示す。

健康科学部では、人類の福祉と文化の進展に寄与するため、本学の教育と学習を通じて専門職者として、以下の能力を獲得した者に学士の学位を授与する。

- ①人々が健康的な生活を送るために果たすべき役割を自覚し、その実践に必要な専門性に関する知識や技術を身につけた者。
- ②社会の状況やニーズを理解し、科学的根拠に基づいた判断による適切な実践力を身につけた者。
- ③行動をするにあたって、責任感と倫理観を身につけた者。
- ④目的達成に向けて、多様な人々と協働し学び続ける力を身につけた者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

健康科学部では、ディプロマ・ポリシーで掲げた専門的知識や

技術の修得と実践力を育み、専門職者としての責任感や倫理観及び他の人々と協働する等の態度を身に付けた人材を育成するために、以下の方針に基づき教育課程を編成する。

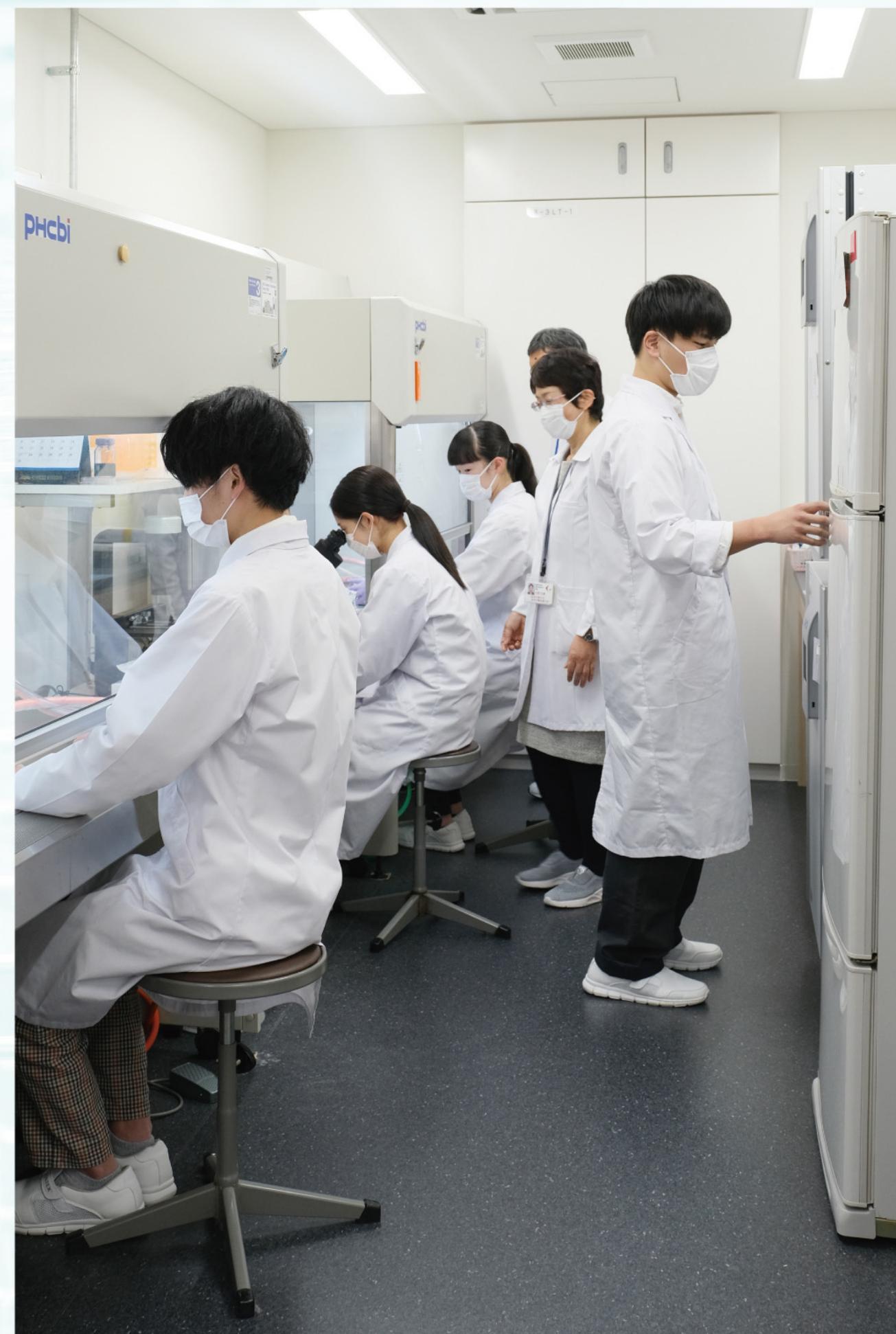
- ①専門的知識・技術を獲得し、それらが持つ社会的意義と役割を理解し、さらに多様な専門分野の人々と協働することができ、責任感や倫理観に基づいた総合的・創造的な実践力を身に付けられるように、講義・演習・実験・学外実習を通して段階的に高めていく教育課程を編成する。
- ②自ら学修上の問題に気づき、その原因を探求して克服しながら成長できる人材を養成するために、具体的な授業内容と到達目標を明確にし、さらに授業以外で学習すべき内容を明確にし、その成果を適切にフィードバックする教育を実施する。そのため、学習ポートフォリオを導入し、学生が自らの学びを振り返り、目標を立てて達成度を確認しながら、学習への主体性を育む教育を実施する。
- ③課題を発見して分析し実践する力の向上を目指してアクティブラーニングを導入し、学生が仲間と議論し協働することや、リーダーシップやチームワークを發揮して主体的に問題解決に取り組む教育を実施する。
- ④学生自身が専門職としての自覚と誇りを持ち、具体的な将来展望を描くことができ、学び続ける姿勢を持てるようなキャリア教育を実施する。

以上の方針の下、獲得された学習成果を高知学園大学アセスメント・ポリシーに基づいて客観的かつ厳格に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)※抜粋

健康科学部では、人類の福祉と文化の発展に寄与するために、(1)熱心に学び、その成果を社会に貢献するために活用すること、(2)世界の変化や動向を分析し、進歩する知識と技術を求め続けること、(3)新たな研究に挑戦する心を持っていること、(4)幅広い世代の人々との人間関係を円滑に結べること、が求められる。そこで、本学部では、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができている人を入学者として求めている。

- ①深く学び、人々の健康に貢献することを求めている人。
- ②人々の健康を支えるために果たす自分の将来像を考え、自己実現を目指している人。
- ③課題を探求するため、困難な場面においても簡単にはあきらめず、最後までやり遂げようとする強い意志を持っている人。
- ④広い心を保ち、高い理想を実現するために人々と協力し合うことができる人。



高知学園大学健康科学部が定める 学習成果と方針

Our Policy

管理栄養学科

■学習成果

管理栄養学科は、食と栄養を通して、人々の健康に貢献するために、医療や社会の様々なニーズに対応できる社会人となるため、次に掲げる能力を獲得する。

- ① 健康の保持・増進に貢献するため、食・栄養に関わる専門的知識を適切に活用することができる。
- ② 食と栄養に関する知識と技術を獲得し、自らの意見をまとめて適切な情報を発信することができる。
- ③ 食生活習慣の改善を通して健康増進に寄与するため、自ら課題を立て、その課題解決に取り組むことができる。
- ④ 食と栄養の重要性を伝えると同時に、関連分野の人々からも意見を聞くことによって、相互に理解し、尊重し合いながら医療や教育など生活全般における自らの役割を果たすことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

管理栄養学科は、食と栄養を通して人々の健康に貢献するために、医療や社会の様々なニーズに対応できる、次の能力を獲得した者に学士(栄養学)の学位を授与する。

- ① 人々の健康的な生活に貢献する地域医療や在宅医療、災害医療等の栄養管理を実践するため、科学的根拠に基づいた高度な専門的知識及び技術を身につけた者。
- ② 人々の食生活や食習慣に関する課題の把握・改善に取り組む主体性及び多様な人々に対応できるコミュニケーション能力を身につけた者。
- ③ 人々の健康的な生活を目指し、専門職としての責任感と倫理観を身につけ、他の立場を理解し協働できる者。
- ④ 保健、医療、福祉等において多様な職種や人々と協働し、管理栄養士として中核的役割を果たすために学び続ける力を身につけた者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

管理栄養学科では、学生が健康科学部のディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成する。

- ① 食に関わる健康の問題解決を図るための教養教育と専門教

育の教育課程を編成する。食と栄養に関する知識と技術を修得し、管理栄養士の社会的な役割を理解するとともに、その知識と技術を活用する応用力・実践力を養う教育を実施する。

- ② 健康に関する問題に食と栄養の側面から気づき、その原因を探求して適切な判断と、問題解決を図る活動を取り入れた教育課程を編成する。自ら計画を立てて学習に取り組むようアクティブラーニング等、学生の主体性を育み表現力や傾聴力などを養う教育を実施する。
- ③ 多様な専門職者と協働することができるよう、各種専門職の特徴や役割を理解し、他の専門分野の学生と協働しながら、総合的に健康を学ぶ教育課程を編成する。
- ④ チーム医療で必要となる医療業種間の業務の違いや、多様な専門分野の役割を理解するとともに、管理栄養士の医療における役割や立場を理解し、他者と協働するための教育を実施する。学科を越えた共通科目による他職種間連携のフィールドワーク等を取り入れた実践的教育を実施する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

管理栄養学科では、食と栄養の分野から健康で豊かな生活に貢献するため、(1)食と栄養の重要性を考えながら、学習に計画的かつ熱心に取り組むこと、(2)学習内容を活用して実践すること、(3)食と栄養及び健康に強い関心を持ち、最新の食・栄養に関わる理論と技術を学び続けること、(4)仲間とともに自己成長を目指すことが求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができる人を入学者として求めている。

- ① 食と栄養に関する分野に必要な基礎学力を持ち、謙虚な気持で学習に取り組む人。
- ② キャリア形成に対する意識を持ち、食と栄養に関する分野で社会貢献を目指す人。
- ③ 将来への目的意識が高く、健康で豊かな生活を心がけ実践している人。
- ④ 多様な人々と協力しながら、主体的に学ぶために必要なコミュニケーション能力を有する人。

臨床検査学科

■学習成果

臨床検査学科では、臨床検査の専門的職業人として実践力や研究能力を有し現代医療に貢献できる人材を養成するため、本学科

の教育と学習を通じて次に挙げる能力を獲得することができる。

- ① 広い視野を持った臨床検査技師として、地域住民に幅広い医療を提供するために、専門性の高い知識と技術を身につけ、その内容と意義を説明することができる。
- ② 最新の知見を収集して活用し、社会の状況から見出した医療および臨床検査分野の課題の解決に向け、適切に判断することができる。
- ③ 地域医療の発展に寄与できる研究的視点を身につけ、倫理的視点を踏まえ、専門的知識や技術を自ら活用することができる。
- ④ 多様な人々と互いの立場を尊重しながらコミュニケーションを図り、専門的職業人として臨床検査技師に求められる役割を果たすことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

臨床検査学科は、豊かな教養と人間性を備え、高度化・多様化する現代医療に貢献するために、本学科の教育と学習を通じて生命の仕組みと疾病の成り立ち及び予防に関する以下の能力を得た者に学士(臨床検査学)の学位を授与する。

- ① 地域医療や在宅医療さらに災害医療等の幅広い分野で貢献するために、人体の健康状態を解析できる高度な臨床検査の知識や技術を備えた者。
- ② 生命を守るために臨床検査分野の課題を探究し、問題解決する実践力を身につけた者。
- ③ 地域医療の発展のために必要な研究的視点を持ち、責任感と倫理観を身につけた者。
- ④ 地域や医療の組織の中で臨床検査技師の役割を果たすために、コミュニケーション能力と多様な人々と協働し学び続ける力を身につけた者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

臨床検査学科では、学生が健康科学部ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得することによって、現代医療に貢献できる臨床検査技師を養成するため、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

- ① 保健医療に貢献する人材として、広い視野をもち専門性と責任感を有し問題解決を図ることができるために、教養教育と専門教育を編成する。人体の理解を柱に専門知識や技術の基盤を身につけ、実践力や応用力を養う教育を実施する。
- ② 医療人として自己の役割を認識し、更なる成長を果たすため、グ

ループ活動他アクティブラーニングを取り入れるなど、他者との相互理解を深め、目標を立て主体的に学ぶ教育を実施する。

- ③ 医療人としての研究的視点を獲得するため、卒業研究やその発表等を通して、創造性、主体性、表現力及び倫理観を育む教育を実施する。
- ④ チーム医療で必要となる医療業種間の業務の違いや多様な専門分野の役割を理解するとともに、臨床検査技師の医療における役割や立場を理解し、他者と協働するための教育を実施する。学科を越えた共通科目による他職種間連携のフィールドワークなどを取り入れた実践的教育を実施する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

臨床検査学科では、学生が生命の仕組みと疾病の成り立ち及び予防について習得し、現代医療に貢献するため、(1)臨床検査が果たす役割を考えながら、計画的かつ意欲的に学ぶこと、(2)臨床検査に関する知識を適切に活用して実践するための技術を学び続けること、(3)健康維持と増進に有益な臨床検査に関する最新の知識を学び続けること、(4)多様な人々と協働し、自らの役割を果たすことが求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができている人を入学者として求めている。

- ① 人々の健康を支えるための学習に必要な基礎学力を有し、学習意欲を継続できる人。
- ② 人体の仕組みと働きに強い関心を持ち、生命にかかわる分野で社会貢献を目指す人。
- ③ 人々が健康に生活できるための知識や技術を学ぶことに強い意志を持つ人。
- ④ 思いやりと協調性を有し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる人。



"Watashirashiku"

食、教育、医療の分野における
専門知識と実践能力を学び
真のプロフェッショナルを目指します。
私たち大学はその羅針盤になり
みなさんの夢の実現に向けて
一緒に帆を上げて進んでいきます。

Kochi
Gakuen
College

「食」と「教育」と「医療」
高知学園短期大学

幼児保育学科
Department of Early Childhood Education and Care

歯科衛生学科
Department of Dental Hygiene

看護学科
Department of Nursing

専攻科応用生命科学専攻
Advanced Course in Applied Life Sciences

専攻科地域看護学専攻
Advanced Course in Community Health Nursing



幼稚保育学科

Department of Early Childhood Education and Care



■ 幼児保育学科の教育目的

子どもたちの「生きる力の基礎」を育むために、豊かな人間性を身につけるとともに、情報を適切に収集し、選択・活用する能力、知識を有機的に結びつけ構造化する力、組織的・協同的に諸課題に取り組む力など、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって主体的に高めていくことのできる幼稚園教諭、保育士及び保育教諭を養成します。



幼児保育学科 学科長
山下 文一

次代を担う乳幼児教育及び保育のエキスパートを養成します。

乳幼児期は、自分の生活を離れて知識や技能を一方向的に教えられて身に付けていく時期ではなく、遊びや生活中で自分の興味や欲求に基づいた直接的・具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現する力などを育み、人間として、社会と関わる人として生きていくための基礎を培う重要な時期であるといえます。つまり、保育者は「子どもの望ましい発達を期待し、子どものもつ潜在的な可能性に働き掛け、その生涯にわたる人格の形成を図る」という崇高な使命を持っているのです。

子ども一人一人にこれらの力を育んでいくためには、優れた資質能力を備えた魅力ある保育者が必要とされています。「教育は人なり」といわれるよう、教育の成否は、教員の資質能力に負うところが極めて大きいといえます。

幼児保育学科では、「幼児たちの集団生活を育む教育・保育に必要な知識と技術を習得し、愛情に満ちた豊かな人間性を持つとともに、特に附属高知幼稚園などにおける豊富な実習の体験を通して、新たな幼児保育理論を備えた実践力を有する幼稚園教諭、保育士及び保育教諭を養成する。」ことを目標に掲げ、次代を担う質の高い保育者の養成を目指しています。

さらには、学生の皆さんのが安心して、大学生活を送ることができるよう学習や生活などの支援体制も整えています。

ぜひ、みなさんの夢をここ高知学園短期大学幼児保育学科で実現しませんか。皆さんの夢の実現に向けて、全力でサポートさせていただきます。



CAREER DESIGN

QUALIFICATION 取得可能な資格

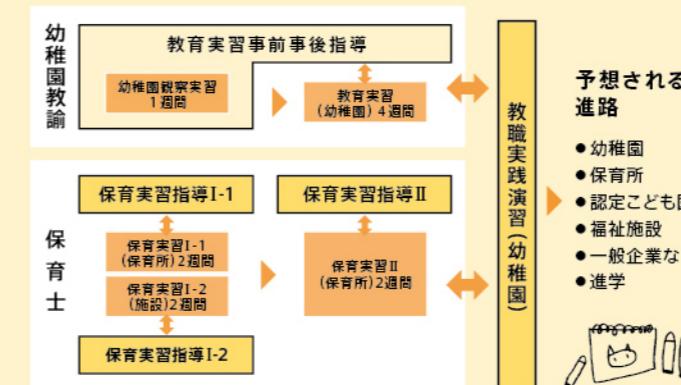
- 短期大学士(幼児保育学)
- 幼稚園教諭二種免許状
- 保育士資格



幼児保育学科 2年
岡 志織

幼稚保育学科のキャリアデザイン

卒業と同時に幼稚園教諭二種免許状と保育士資格を取得。より実践的で質の高い保育者の養成を目指し、本学独自のカリキュラムを編成しています。



幼稚保育学科では、専任教員を中心に、自らが進めた研究活動に裏づけられた内容を授業で取り上げています。そのため、確かな根拠と最新の理論を提供する講義が実践されています。さらに、そこで得られた知識や技能を活用する実践力を養う、学外実習の機会を多く取り入れています。また、本学と同じ敷地内に高知学園短期

大学附属高知幼稚園があり、日常的に実践的な学習を行うことができます。これは実習の事前指導としての効果だけでなく、学習内容が真の理解に発展する絶好的の機会となっています。こうした活動は、幼稚園と短期大学を擁する総合学園だからこそ実現できるのです。

私は幼い頃から、保育者に憧れをもっていました。そんな中、保育者を目指そうと決意したのは中学生の頃です。自分が通っていた保育園で職業体験を行った際、保育者が笑顔で子ども達を包み、子どもたちも笑顔で遊んでいる姿を見たからです。笑顔でいることで、子どもの笑顔も見られる素敵な仕事に自分が就きたいと考えるようになりました。

今、私はそんな保育者を目指し、日々の授業、ピアノ、テスト、実習と大忙しの日々を送っています。どの授業も、保育者を目指すためには欠かしてはいけないものばかりです。特に専門的な教科は、実習すぐに必要となってきます。

一日一日、少しずつですが、夢だった保育者に近づくことができています。専門的な用語を覚えられなかったり、歌と一緒に歌うことが思うように弾けなかったりと課題はたくさんあります。ここには同じ保育者を目指す仲間がいます。それは、私にとって何よりも励みになり、大変な日々をここまで乗り越えてこられたのもそのおかげです。また、分からないことがあってもとことん教えてくれる先生方もいます。

まだ、先は長いですが、この幼稚保育学科で私は自分らしい笑顔で子どもの大好きな保育者を目指していきます。



人格形成の基礎を培う乳幼児期の教育及び保育について学びます。



Message



幼児保育学科 準教授
寺尾 康

乳幼児期の教育は生涯にわたり、その子どもの人格、学びの土台を形づくることから、とても大切です。

みなさんが保育園や幼稚園のときの、明るく優しい先生は、もしかしたら本学の卒業生かもしれません。それだけ多くの幼児保育学科の卒業生が、高知県の教育・保育の中核として活躍しています。

幼児保育学科では、保育者としての知識や技術、洞察力や実践力を培うことができるよう、事例研究、グループワーク、模擬保育、各分野の実習等、体験的・実践的に学んでいます。また、教育心理学など理論的な学びの場があり、同級生はもとより、先輩との交流の中で実習の準備のアドバイスなどが得られるように工夫されています。

誰もが最初は、勉強の仕方やピアノなど実技の不安などがあるかもしれません。各専門の教員には授業だけでなく、オフィスアワーなど気軽に質問できる時間が設けられていますので、一人ひとりの状態にあった支援ができるようになっています。子どもたちに、楽しい「あそび」を通して発達や成長を促し、主体的な活動とともに、一人ひとりの特性に応じた教育ができる保育者を本学・幼児保育学科で目指しましょう。

幼児保育学科では、保育者としての知識や技術、洞察力や実践力を培うことができるよう、事例研究、グループワーク、模擬保育、各分野の実習等、体験的・実践的に学んでいます。また、教育心理学など理論的な学びの場があり、同級生はもとより、先

特徴的なカリキュラム CURRICULUM

■教育原理

教育の目的や意義、方法、内容などについての、基本的原則や理論的基礎を学ぶ。

教育原理の範囲は、教育の意味と我が国における教育の文化、教育の発展に関わってきた人物と理論、教育の歴史、日本や外国の教育の特徴、実践的な指導法や学習指導要領など、広いものがあります。さらに教育について多くの人々が考え、実践してきた教育の形を学ぶことにより、子どもをささえ、子どもの育ちを見守り、手助けをする保育者の役割が深く理解できるようになります。

■発達心理学I・II

発達理論の理解を深め、子どもと触れあうことで、保育実践力を養う。

保育の実践は子どもを理解して初めて可能となります。発達心理学では、子どもの心の発達を理解し保育へ活用する視点と能力を養うため、常に最新の発達理論を学ぶとともに子どもと触れあいながら理解を深めていきます。

中でも、附属高知幼稚園の協力を得て幼児を対象とした研究を行うことは、自ら学習して得た知識と実際に得られた分析結果などを結びつけて理解を深めていく効果があります。

その結果、理論で用いられるデータを読み取る力が養われますので、就職後も最新の研究理論を活かした保育実践力の向上に役立っています。

■教育実習・保育実習(保育所・施設)

子どもを理解し、保育を構想し、省察する力を身につける。

乳幼児期の教育は、子どものもつ様々な可能性に働きかけ、その人格の形成の基礎を培う重要な営みです。保育者が自分の思いを一方的に子どもたちに押し付けるだけの保育では、子ども一人一人の発達を着実に促すことはできません。

実習は、本学で身に付けた知識や技術をもとに、幼稚園や保育所、福祉施設等で、直接子どもと関わり共に生活をする中で、保育者としての喜びや意義、子どもについての理解を深める営みといえます。

ただ単に保育者や子どもの姿を観察するだけではなく、保育を計画し、実践し、そして振り返り、再び保育を計画するという体験を通して、保育者としての専門性を学んでいきます。このようにして、保育の基礎力を身に付けていくことになります。

■保育内容(健康)

子どもたちの健康・遊び・安全についてグループワークで学び合う。

子どもたちの心身の健康に関する領域「健康」では、基本的生活習慣・遊び・安全等のテーマに重点を置いて、保育者の指導・援助のポイントを実践的に学びます。

運動遊びの模擬保育では、幼児期運動指針をふまえて、発達特性に応じた運動の在り方や保育者の関わり方をグループワークで理解します。

また、安全の確保や事故への対応、乳幼児の一次救命処置の手順、災害時の行動など、子どもの命を預かる保育者の責務についても学びます。

■保育原理I

保育についての基礎・基本を理解し、保育に対する必要な知識を身につける。

保育の場では、大好きな先生の温かなまなざしに包まれて子ども達は伸び伸びと安心して過ごしています。保育とは何か、保育者として大切なことについて、事例等を通して子どもの発達や子どもも理解も深めています。

また、保育の基本となる保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について理解し、保育に関する法令や制度、日本の保育の思想と歴史的変遷や子どもを取り巻く環境の変化による保育の現状と課題についても学んでいきます。

■音楽表現遊び

子どもたちと一緒に歌ったり、身体を動かしたり、子どもの成長と発達に不可欠な音楽表現支援力を身につける。

幼児は音楽を聴いたり、歌ったり、音楽や言葉に合わせて身体を動かしたりして、内面に蓄えられた様々な事象や情景を思い浮かべ、それらを新しく組み立てながら、想像の世界を楽しみ充実感を味わって心身共に大きく育っています。

そういった豊かな感性や自己を表現する意欲を最大限に支援するためには、音楽の楽しさや美しさを保育者は十分に味わい知る必要があります。この授業ではピアノや歌唱の基礎技能等について演習を通して学び、子どもの表現あそびの環境を創造性豊かに整える力を身に付けます。

■子育て支援

子どもの生活を支える保護者への支援を学ぶ。

子育て支援では、保護者への支援を通して、「子どもの最善の利益」を実現する方法について学びます。「子どもの最善の利益」は、「子どもにとって最もよいこと」に取り組むという、保育者の基盤となる考え方です。

この「子どもの最善の利益」は、保育所や幼稚園のことには限りません。子どもが家族と安心して暮らすことや、将来、学校で友達と楽しく過ごすなど、子どもの生活全体を視野に入れる必要があります。

そのため保育者は、子どもの家庭生活を支える保護者の相談にのり、協力し、一緒に子どもを育てるパートナーでなければなりません。授業では、こうした保護者への相談や助言、関係構築の方法を、事例検討やロールプレイを通じて学びます。

高知学園短期大学

歯科衛生学科

Department of Dental Hygiene



■歯科衛生学科の教育目的

幅広い教養を深めるための基礎分野では、豊かな人間性と倫理観、異文化を理解することによりグローバルな視点を培い、多様な講義・演習・実習の専門分野では専門的職業人として主体性をもち、継続的な口腔衛生管理及び食支援をすることができる知識と技術を習得し、生涯にわたり自己研鑽を重ねる志とコミュニケーション力を兼ね備えた歯科衛生士を養成します。



歯科衛生学科 学科長
中石 裕子

歯科衛生士を養成する教育機関は県内では本学のみ。

「学」と「実」の両面から真のプロフェッショナルを目指します。

歯科衛生学科では、基礎、専門基礎、専門分野などカリキュラムに沿って学びながら知識と技術を深めます。歯科衛生士業務の主となる歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導では感染防止に配慮し、万全を期して学内実習を通してより専門的な教科を3年間で習得します。講義を通してインプットを行い演習および実習では、グループディスカッションやプレゼンテーションを取り入れアウトプットすることで人に伝え理解を深めます。

本学科の特色は、学生の主体的な学びとして行政と連携した歯肉炎予防を中心に行う「食育+歯みがき」実習があります。毎年3,000名以上の幼児・児童・生徒に予防のための支援を実践しています。口腔衛生の方法及び食支援を通して全身の健康管理を目指し、各年齢層(ライフステージ)に応じた指導計画と評価ができる実践力を養っています。

今後を見据えた災害支援や高齢者の口腔のケアや予防等に力点を置き、社会のニーズにも対応した異文化理解と幅広いコミュニケーション能力を培うために授業と実習の展開を図っているのも特色です。

学外実習では、歯科医院等で勤務している殆どは本学の卒業生であり、歯科臨床実習においても先輩が懇切、丁寧に指導してくれます。歯科衛生士は国家資格であり、非常に有利で将来性のある仕事です。

CAREER DESIGN

QUALIFICATION 取得可能な資格

- 短期大学士(歯科衛生学)
- 歯科衛生士国家試験受験資格



歯科衛生学科のキャリアデザイン

卒業と一緒に短期大学士(歯科衛生学)と歯科衛生士の国家試験受験資格が取得できます。学内の講義・実習と学外実習を通して実践力を養い、多様なカリキュラムを編成しチーム医療の一員として連携できる歯科衛生士を目指しています。

歯科衛生学科入学

↓
基礎分野
専門基礎分野
専門分野
選択必修分野

卒業

歯科衛生士国家試験受験資格

予想される進路

- 歯科医院
- 病院
- 高齢者施設



歯科衛生学科 2年

廣瀬 優



私は、歯科衛生士の職業体験に参加した時に「口と全身の病気は関連している」ことを教わり、歯科衛生士の重要性を知りました。また、歯科衛生士が使用する機械を使わせてもらったことでとても魅力を感じ、私は歯科衛生士を目指すことになりました。

入学当初は慣れない専門用語や実習についていけるか不安でしたが、歯科の先生方が優しく丁寧に教えてくださるので、一つ一つ理解できるようになり、今では授業にやりがいを感じています。

新型コロナ感染症対策として授業が始まる前と後に机の消毒を行い、実習ではフェイスシールドやこまめな換気などをしているので、安心して授業に励むことが出来ます。また、かけがえのない友達にも出会い、みんなで切磋琢磨し合って、毎日楽しく充実した学校生活を過ごしています。

入学して1年、知識や技術はまだ未熟ですが、歯科衛生士という仕事を知れば知るほど、とても重要な仕事だと感じています。様々な場所で活躍されている本学の先輩歯科衛生士もいらっしゃるこの歯科衛生学科で、私も将来、患者様から信頼され、お口を通じてたくさんの人々の健康を守りたいです。



歯と口の健康と全身の関連について総合的に学びます。



Message



歯科衛生学科 講師
和食 沙紀

歯科衛生士とは、口腔の健康から全身の健康を守っている国家資格の専門職です。本学は、高知県唯一の歯科衛生士養成校として、たくさんの歯科衛生士を輩出してきました。

歯科衛生士の主な業務は、むし歯や歯周病などのお口の病気から守る歯科予防処置、歯科診療を円滑に進めるための歯科診療補助、お口の健康維持・啓発するため健康教育などを行う歯科保健指導などがあります。さらに歯科医院に行ったことのある方は覚えがあると思いますが、患者様との心の距離が近く、不安を抱えておられる患者様と向き合い励ますことも歯科衛生士の大切な仕事です。

皆さんも知っている通り、食べることは生きること。食べれる歯を守ることは生きるために直結しています。お口の病気から全身疾患を引き起こすこともわかっており、歯科衛生士が行う口腔のケアは、高齢化が進む日本において人々の健康寿命を延ばし、イキイキと生きるために支援を行うことが出来るとてもやりがいのある仕事です。

現在、歯科衛生士は歯科医院や病院、介護施設などでも活躍し、求人件数も多く将来性十分の資格だと言えます。ぜひ本学歯科衛生学科で一緒に学び、歯科衛生士を目指してみませんか。

特徴的なカリキュラム CURRICULUM

■ 健康教育

病気に対する知識や口腔状態、セルフケア方法を理解する歯科健康教育を学ぶ。

この科目では、様々な年齢層に応じた歯みがき指導ができるように、学生間で目的を設定し、学生の主体性とチームワークに重点をおいた授業を展開します。年齢にあった媒体を作製し保育園・小学校・介護施設等で歯みがきや口腔機能向上の指導実習をします。



■ 高齢者・障害者介護技術

高齢者や障害者に重要な口腔ケアの技術を学ぶ。

歯科衛生士も歯科医院から在宅・病院・施設などに訪問の機会が多くなってきました。高齢・障害者についての身体・精神的程度、症状等を正確に理解し、力学的相互関係を活用した介護技術を学びます。(ボディメカニクス)

■ 診療補助実習

実習を通じて、歯科診療補助の実践的な技術を学ぶ。

最新の歯科診療台が18台あり、教員のデモンストレーションを見るモニター(パソコン)も設置されています。学生同士での相互実習により、技術の習得のために歯科医院と同じ設備です。使用する器具等は完全に滅菌・保管されており、安心して実習できます。

■ 歯周病予防処置・う蝕予防処置

歯を失う原因にもなる歯周病を知り歯周病の予防処置を学ぶ。

歯周病の予防では、スケーラーで歯石などを除去します。むし歯の予防では歯にフッ素を塗ったり、予防墳塞という処置をするなどの知識や技術を実習します。

■ 口腔解剖学I・II

歯の形態や歯列・咬合、歯および歯周組織の知識を学ぶ。

口腔解剖学Iでは、顎口腔領域の形態、構造について学びます。今後も増加する高齢者・要介護者が抱える問題となる嚥下障害など口腔の機能についての基礎知識を理解します。

口腔解剖学IIでは歯牙の形態、構造について学びます。歯の形態はそれぞれ異なっており、一本一本の歯がそれぞれどのような働きをしているのか、また、歯科衛生士として歯(歯冠・歯根)の特徴を理解することは、目に見えない部分の歯石を取り(スケーリング)際に必要なことです。

■ オーラルヘルスケアテクニック

予防を目的とした歯のメインテナンス技術と知識を学ぶ。

オーラルヘルスケアは、オーラル(口腔: oral)ヘルス(健康: health)ケア(管理・予防: care)を意味しますが、口腔の問題にとどまら

ず全身の健康やQOLとも関連することが明らかとなっていました。心身ともに健康であることをもとに知識や技術を習得していきます。

■ 災害と支援活動法

災害における口腔ケアや口腔衛生の必要性と疾患予防の観点における支援を学ぶ。

災害には、風水害、震災、雪害などの自然災害の他、人為的災害があります。その場合、歯科医療や歯科保健の支援が必要になります。

災害時は、住み慣れた自宅での生活から一転して、食事や睡眠・ストレスなども大きくなるため、多職種とも連携しながら健康管理や支援内容、コーディネイトなどのすすめ方を習得していきます。

連綿と受け継がれる 誇りと伝統のセレモニー



継承式

継承式では、先輩から後輩へローソクの灯が受け継がれます。この灯火は「消えることのない心のある医療を目指す証」としてまた、「本学の歯科衛生士として誇りと情熱、患者様に対しての誠意」の意味が込められています。この継承式は、臨床実習前に行われます。



たちばな徽章

第一期生の誕生から52年。歯科衛生士としての情熱と誇りは今も脈々と後輩たちに受け継がれています。歯科衛生士として常に原点に返り、臨床実習に向かうにあたり、社会貢献を誓う継承式で、この徽章が贈られます。

徽章には、本学の校章である「橘」の花が描かれています。



たちばな徽章



■看護学科の教育目的

専門的知識・技術を教授し、科学的・論理的思考を養い、かつ演習や実習を通じて実践能力を身につけ、社会の健康課題を人々と共に解決し、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる豊かな人間性・創造性・主体性をもった看護専門職者を養成します。



看護学科 学科長
和泉 明子

豊かな人間性、専門職としての倫理観に基づき、看護の知識と技術をもとに、自ら判断し行動できる看護専門職者を養成します。

わが国の医療・看護を取り巻く環境は、少子高齢化の進行・医療技術の進歩・病院での治療から地域移行へといった流れとともに大きく変化しています。その中で看護専門職者は、多職種と協働しながら、多様な社会のニーズに対応する質の高いケアを提供できる者として期待されています。

看護学科では、社会に求められる看護の役割を意識しながら、看護の専門的知識・技術をもって、人びとの健康と生活の質の向上に貢献できる、豊かな人間性・創造性・主体性を持った看護専門職者を養成することを教育目標として日々取り組んでいます。

私たちは、入学してきた皆さんが、学内の講義や演習で学んだことを、臨地(病院・施設や在宅)での実習を通して、看護の実践へとつなげていけるよう支援します。そして、自ら判断し行動できる主体性を身につけ、自分も他の人も大切にしながらケアを提供できる専門職者として成長していくよう、一人ひとりの学びに寄り添いながら教育に取り組んでまいります。

CAREER DESIGN

QUALIFICATION 取得可能な資格

- 短期大学士(看護学)
- 看護師国家試験受験資格
- 養護教諭二種免許状

看護学科のキャリアデザイン

卒業と同時に短期大学士(看護学)と看護師国家試験受験資格が取得でき、さらに必要な科目的単位修得により養護教諭二種免許状も取得できます。卒業後は、病院や訪問看護ステーションなど様々な場で看護師として活躍したり、保健師や養護教諭(一種)を目指して専攻科地域看護学専攻に進学する途も開けています。

看護師国家試験受験資格



養護教諭二種免許状(選択)



予想される進路

- 病院
- 訪問看護ステーション
- 介護保険施設
- 海外での看護活動
- 学校
- 進学



看護学科 3年
中野 葉都



私は、幼いころから看護師として働く母の姿を見て、私も誰かを支える仕事につきたいと思い看護職に興味を持ちました。その中でも助産師は、女性とその家族のライフイベントに関わり母児をサポートできる存在であると知り、助産師を目指すことを決意。助産師になるためには看護師の資格も必要であるため、夢を叶えるために看護学科に入学しました。

1年生では、解剖生理・病態・看護過程・援助方法など対象者に看護を提供するうえで必要な基礎的なことを学びます。2年生では、各領域の臨地実習が始まるため、その領域特有の看護やアセスメント方法など専門的なことを学びます。令和2年度はコロナ禍での実習でしたが、短期間の臨地実習でも患者さんを受け持ち、アセスメントを行い必要な看護を計画し、1年次に習得した看護技術を実践するといった貴重な経験を積むことができました。

学習を深める中で、患者さん一人ひとりを理解し看護を提供するためには、基礎的な知識と技術、幅広い視野が大切である感じています。

これからも、自身の看護観を深め、国家試験合格と理想とする助産師像を目指し勉学に努めていきたいです。



人々の生活を健康の視点から支えられるよう、健康や看護について学びます。



戴灯式 看護師の行動指針である「看護者の倫理綱領」を朗唱し、看護専門職者として引き受けける責任を自覚します。

Message



看護学科 准教授
がん看護専門看護師
田尻 信子

看護職は保健・医療・福祉の幅広い分野で人々に寄り添い、健康を守る事を務めています。“人を見る”という看護師独自の視点をもち、患者さんやご家族の生命と生活を支えています。

1年次は基礎的な内容が多く、難しく感じるかもしれません、学内での演習やファーストステップ演習、各領域実習へと進む中で、看護職としての意欲が芽生えてきます。

患者さんやご家族の何気ない言葉に「誰かの役に立てる喜び」を感じ、今までの勉学とは異なった、学ぶ本当の意味が育まれていきます。看護師には専門看護師や認定看護師など、専門的な看護を実

践する領域も増え、高齢化の中、益々高度な看護ケアが望まれています。

また看護師の資格取得後、助産師や保健師といった方向性を選択していくことも可能な職種です。病院や診療所などの医療機関のほかに、現在では卒業直後から訪問看護や福祉関連施設など、活躍の場はどんどん広がっています。

学校生活の中で自分の進むべき道を自ら選択できるよう、一緒に学んでみませんか。

特徴的なカリキュラム

CURRICULUM

■ ファーストステップ演習

看護学生として、初めて看護の現場を体験する。

この科目では、看護の対象者が過ごす病院や施設に出向き、現場の看護師とともに対象者と関わり、看護の実際を体験します。

看護の対象者とその対象者の生活の場を知り、自宅での生活環境との違いを考えます。また、コミュニケーションを通して看護職者として求められる意識や姿勢について考えます。学んだ知識と体験を結び付けるためのグループワークを中心に授業を開展します。

■ 看護学概論

看護学の入門として「看護とは何か」を学ぶ。

初めて看護学を学ぶ皆さん、「看護とは何か」について考えていくための基礎を養う科目です。看護の定義や目的、対象のとらえ方などについて看護の歴史をふまながら学びます。

これから学習する看護専門分野への入門の科目として、幅広い視点から考えができるための素地をつくります。グループ討議の中で「自分の考え方や疑問を言葉にすること」を大切にした授業を開展します。

■ 基礎看護援助方法論II

診療や検査を受ける対象の苦痛や不安を最小限にするための看護について学ぶ。

看護師の役割には法律上「療養上の世話」と「診療の補助」があります。この科目では、創傷の処置を始め、酸素吸入や注射、診療に伴う基本的な看護技術など、主に「診療の補助」に関わる看護について学内演習を中心に学びます。

看護師は、単なる医療行為の補助だけでなく、診療を受ける対象の不安や苦痛を最小限にし、安全で安楽な援助を行っていく必要があります。

学内の実習室で学生同士やモデル人形を相手に、医療現場で実際に使用されているものと同様の物品を使用し、対象への配慮や対象に適した援助方法を習得します。

■ 母性看護実習

妊娠、出産を通して、命の尊さ、個人の尊厳を感じる実習。

母性看護実習は、出産前後の母子を受け持ち、母親と新生児が健康に過ごし良い母子関係を築いていくための看護を学びます。学生それぞれが自分の誕生について思いをはせ、生命の尊さについて考える実習もあります。

出産直後のこの時期は母子共に心身の変化が激しく、順調な経過をたどっているかどうかの観察や判断がとても重要になります。病院での実習を通して、母子の健康状態を判断するための知識や技術、新しい生命が家族に迎えられるための援助の視点を学びます。

■ 急性期看護援助論

急激な健康状態の変化が起こっている対象への看護について学ぶ。

急性期は、疾病、外傷、手術などによって健康状態の急激な変化が引き起こされた時期です。急性期看護援助論では、このような時期にある対象の命を守り、速やかな回復を促進するための観察、判断、適切な処置・ケアに関する知識や技術を学びます。

また、急性期の健康問題を持つ対象を身体、精神、社会面から総合的にとらえ、安全や安楽に配慮した看護援助の方法について学びます。

■ 慢性期看護援助論II

慢性期にある健康問題をもつ人が、自分らしく生活を送るためにどのような看護が提供できるかを学ぶ。

慢性期にあるとはどのようなことを意味するのかを考え、健康問題を自らマネジメントしながら生活している方に、どのような場面でどのような看護が必要か具体的に考えていきます。

設定した模擬患者さんについて、グループで協力し合いながら課題の解決に向けて看護を開発し、それを発表することで、考え方・伝え・他者と共に学びを深める授業を開展していきます。

■ 小児看護学概論

子どもと家族の理解を深めながら、小児看護学の理念と特性について学ぶ。

子どもを理解するための基礎となる考え方や理論を学び、成長・発達の過程にある子どもの特徴について理解を深めます。

また、様々な発達段階の子どもと家族の生

活、健康問題を理解し、健康を害することが子どもと家族にとってどのような体験なのかを考えます。さらに、子どもの権利を擁護するための倫理的な考え方を学びます。

■ 老年看護援助論I

高齢者のもつ強みを活かして自律した生活を支える看護について学ぶ。

高齢者は、豊富な経験と知識をもち、それ多様な生き方をされてこられた個別性の強い存在です。

加齢変化と病や障害をあわせもつ心身の捉え方や、食事や排泄にみられる高齢者に特徴的な変調と援助技術について学び、高齢者の強みを活かした日常生活援助に応用できる力を培います。

■ 在宅看護実習

在宅で療養する人々と家族への看護の実際を学ぶ。

在宅看護実習では、地域で生活する人々とその家族が、住み慣れた場所でその人らしく過ごせるための支援について学びます。ここでは、訪問看護に同行し在宅での看護の実際を学ぶと共に、在宅療養者を生活者として総合的にとらえる力を養います。

また、通所系サービス事業所等での実習を通して、多職種との連携の重要性を学びます。さらに療養者や家族の在宅生活を支える様々なサービスについて学びを深めていきます。

■ 精神看護実習

ここに問題を抱える対象の生きづらさを理解し、必要な看護について考える。

精神看護実習では、精神科の病棟で、統合失調症や躁うつ病・不安障害・摂食障害といったこころの病気を持つ方と出会います。

そこでお話を聴かせていただきながら、病気による症状の辛さや生きづらさについて考え、病気のために日常生活をうまく送ることができない場合の援助を学びます。また、精神疾患を持つ人々とその家族が、地域により良く生きることを支えるための法律やサービスについて学びます。

I HAVE A DREAM

高知学園短期大学 専攻科 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 特例適用専攻科

応用生命科学専攻

Advanced Course in Applied Life Sciences

私はらしく。
I HAVE A DREAM.
より高度な
臨床検査技師を目指します。

■専攻科応用生命科学専攻の教育目的
臨床検査技師養成教育を受け、習得した専門知識と技術を活用し、幅広い教養と実践力を養い、生命科学分野から保健医療分野まで広く応用できる問題解決能力を有した人材を養成します。

**生命科学から保健医療分野まで応用できる
問題解決能力を有した臨床検査学の専門的職業人を養成します。**

本学専攻科応用生命科学専攻は、大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科の認定を受け、4年制大学と同等の学士(保健衛生学)の取得が可能です。現在、臨床検査の高度化・専門化に伴い、臨床検査技師教育は、4年制、更には大学院教育へと広がっており、本学専攻科修了後には就職はもちろんのこと大学院進学も可能です。

現在、医療の現場では検体採取から検査結果の説明まで臨床検査技師の役割が拡大し、臨床検査の実践力と同時にコミュニケーション能力が強く求められています。

応用生命科学専攻では、3年間の臨床検査学の学びの後、臨床検査技師国家試験受験資格を取得した学生が入学し、プレゼンテーション能力や病態解析能力を身につけることができます。また、専攻科の特徴として、自ら学び探し、応用力と問題解決能力を養う修了研究があります。修了研究では、指導教員のもとでテーマを設定し、文献検索、研究計画の立案、実験、結果の評価と考察を行い、修了論文を完成させ、研究・科学的思考の能力を培います。さらに医療情報技師、超音波検査士、染色体遺伝子検査師、胚培養士などの更なる資格を目指すための基礎となる講義や演習も受講できます。

専攻科で、高度な臨床検査の実践力と研究能力を養い、自身の可能性を広げてみませんか。



専攻科
応用生命科学専攻 専攻長
高岡 榮二

CAREER DESIGN

QUALIFICATION 取得可能な資格

- 学士(保健衛生学)の学位 ※独立行政法人大学改革支援・学位授与機構認定
- 医療情報技師
- 上級バイオ技術者

応用生命科学専攻のキャリアデザイン

本専攻科を修了し、学位申請により4年制大学と同等の学士(保健衛生学)を取得できます。

応用生命科学専攻は平成27年度より「特例適用専攻科」に認定されたため、学士取得のために必要な「学修総まとめ科目」である「修了研究」に4月から1年間取り組みます。4月の入学式の後、修了研究を指導する教員への学生配属を行います。

そして学生は指導教員のもと、研究テーマに取り組み、修了研究に関する「学修総まとめ科目の履修計画書」を作成し、10月に大学改革支援・学位授与機構に提出します。12月には修了研究の発表を行い、1月に修了論文を完成させ、学内で評価を受けます。2月に「学修総まとめ科目の成果の要旨」と「学内成績評価」など関係書類を同機構に提出します。

大学改革支援・学位授与機構は本学から提出された書類をもとに学位授与を審査します。授与された学位記は短期大学の卒業式と同時に行われる専攻科修了式において、学生に授与されます。



予想される進路

- 病院
- 検査センター
- 研究所
- 一般企業
- 進学(大学院)



2020年度
専攻科応用生命科学専攻修了
社会医療法人近森会近森病院勤務
西添 ありす

私は幼い頃から病院に通うことが多く、このことがきっかけで、臨床検査技師という仕事を知りました。担当して頂いた技師さんの優しい声掛けによって不安が取り除かれ、安心して検査を受けていたことを覚えています。このように患者さんに寄り添い、検査で医師の診断を支えたいと思いました。

私は医療検査専攻での学びを通して、勉強の楽しさを感じ、さらに深く学びたいと思い、専攻科への進学を決めました。専攻科では、検査所見から病態を判断したり、論文の読解等を行ったりしています。国家資格を既に取得しているため、修了研究に専念でき、より専門的なスキルや知識を学ぶことができる魅力があります。また、プレゼンテーションを行う機会も多く、相手に伝える能力や表現力、自ら考える力も養われ、自身の成長につながっているのを感じます。

専攻科での1年は、修了研究をはじめ貴重な体験がたくさんでき、自分の糧になると思います。チーム医療の中で、臨床検査技師が果たす役割は大きく、検査結果ひとつで患者さんの命にかかわってきます。将来は、正確な診断につながる検査結果を出し、誰からも信頼され、思いやりのある臨床検査技師を目指して日々努力し続けていきます。

ココをチェック！ 応用生命科学専攻の特徴

CURRICULUM

遺伝子解析学演習



遺伝子解析法の原理と方法について学ぶ。

遺伝子解析学演習では、PCR-RFLP法、塩基配列の決定法、サザンハイブリダイゼーション、組換え遺伝子の作製・検出など、臨床への応用がすすめられている遺伝子解析法の原理と方法について実技を交えながら学びます。遺伝子解析技術は修了研究においても用いられます。

医学検査セミナー(免疫学領域)



がんの免疫療法について学ぶ。

がんの治療方法には外科的治療方法、薬物療法、放射線治療があります。近年第4のがん治療として免疫療法が注目されています。このセミナーでは、がんの特徴とがんを排除する免疫のしくみを学びます。そして、免疫療法の種類、言語や図形の処理を行う際の脳活動部位やそれら部位間の結合性を推定し、認知研究における臨床脳波計の利用可能性を探求しています。

修了研究



9月・12月に研究発表、 2月に論文作成。

専門分野における研究をとおして、広い視野から、企画する能力、実践する能力、考察する能力、発表能力、論文作成能力を培います。医用工学分野では事象関連電位の全脳的分析を行い、言語や図形の処理を行う際の脳活動部位やそれら部位間の結合性を推定し、認知研究における臨床脳波計の利用可能性を探求しています。

高知学園短期大学 専攻科

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 特例適用専攻科

地域看護学専攻

Advanced Course in Community Health Nursing



ココをチェック！ 地域看護学専攻の特徴

CURRICULUM

公衆衛生看護学を学ぶ



公衆衛生看護学の基盤となる考え方を学ぶ。

公衆衛生看護は、行政・学校保健・産業保健の3領域を含み、地域で生活する誰もが心も身体も健康で自分らしく暮らすことができるよう、人と環境に働きかけを行います。

また、地域に出向き自分の足で周辺を歩いて観察し、目で見て、耳で聞いて、地域を知る体験も行います。

少人数制のきめ細やかで手厚い授業



主体的な協同学習で社会人基礎力を培う。

定員20名という少人数で、講義、演習に取り組みます。授業は表現力や理解力を高めるためのグループワークやロールプレイがふんだんに取り入れられています。その経験から「自ら学ぶ力」を身につけていきます。国家試験対策もクラスで協力して取り組みます。

専攻科生の修了研究



研究の集大成をプレゼンテーション。

担当教員の個別指導のもと、自らテーマを設定し看護研究の一連のプロセスに取り組み、研究能力を高めます。

研究内容や研究方法の検討はもちろんのこと、研究に必要な手続きや研究倫理に関することなど、将来看護専門職者として看護研究に取り組むことができる能力を培います。

■専攻科地域看護学専攻の教育目的

看護師としての学修内容の上に、公衆衛生看護学の知識体系を積み上げ、個人・家族・集団・組織からなる地域社会全体の健康レベルの向上のために、広い視野と洞察力をもち創造性豊かに他者と協働することができる看護専門職者を養成します。さらに、修了研究を通して課題発見力や論理的な思考力、表現力を身につけ、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を養います。



専攻科
地域看護学専攻 専攻長
高藤 裕子

地域社会全体の健康レベルの向上のために、広い視野と洞察力をもち創造性豊かに、他者と協働できる看護専門職者を養成します。

専攻科地域看護学専攻では、看護師免許を取得後に1年間で公衆衛生看護学と修了研究等を学び、保健師免許、養護教諭一種免許(選択制で養護教諭二種免許の取得者のみ)、学士(看護学)の取得を目指します。本専攻科では、看護師として学んだ内容に公衆衛生看護学の知識を積み上げ、個人や家族、集団、組織といった広い視野で地域全体の健康レベルの向上を目指し活動するための力を修得します。

昨今、新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大し、日本でも各地で緊急事態宣言が発令され、イベントの自粛や行動の制限を余儀なくされたことで、私たちの生活は大きく変化しました。そして、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動の制限や日本経済への打撃によって、多くの国民がストレスを抱えたり不安に陥ったりしています。このような状況の中、地域で人々の命や健康を守り活動する保健師には大きな期待が寄せられています。保健師は、行政(保健所や市町村等)、医療機関、企業や教育機関等において、乳幼児から高齢者までのすべての地域住民が健康で幸せな生活を送れるよう支援します。

また、感染症対策や健康危機管理等、人々の健康を守るために要となる役割を担い、予防的な立場で公衆衛生に携わり、人々の生活の基盤を支える活動をします。皆さんも地域で活躍できる看護専門職者を目指して、専攻科地域看護学専攻と一緒に学びませんか。

CAREER DESIGN

QUALIFICATION 取得可能な資格

- 学士(看護学)の学位 ※独立行政法人大学改革支援・学位授与機構認定
- 保健師国家試験受験資格
- 養護教諭一種免許状(養護教諭二種免許状取得者のみ)
- 第一種衛生管理者(保健師免許取得後申請による)

地域看護学専攻のキャリアデザイン

本専攻科を修了し、学位申請(特例適用専攻科)又は機関の認定(認定専攻科)により4年制大学と同等の学士(看護学)を取得できます。

● 保健師国家試験受験資格



● 学士(看護学)の学位



● 養護教諭一種免許状(選択)



予想される進路

- 都道府県庁・市役所(保健所)
- 市町村役場
- 企業
- 医療機関
- 学校
- 進学



MESSAGE
FROM CAMPUS
先輩からのエール

専攻科地域看護学専攻

大野 紗菜恵

私は高知県の風土や文化に触れながら地域看護を学びたいたいと思い、県外から専攻科に入学しました。初めは、クラスに馴染めるか不安でしたが、授業等で意見交換を重ねるうちに、気がつくと私も土佐弁を話していました。専攻科地域看護学専攻では、グループワークやロールプレイなど学生が主体となって学ぶ機会が多くあり、仲間と学びを共有する中で、自分の考えや価値観を深める事が出来ます。

公衆衛生看護実習では、住民の方の声に耳を傾け、生活を知り、その地域が持つ特徴や健康問題について考えました。その中で、人々の暮らしや思いには多様性があり、それに十分に対応できる柔軟性や、個人の抱える問題から、家族、集団、組織における課題を捉えていく幅広い視野を持つ事が重要だと学ぶ事が出来ました。

修了研究では、自分がより深く知りたい事をテーマとし、一年を通して探求してきました。最初はゴールも見えず手探りの状態でしたが、先生方の助言を基に、文献検討やデータ分析に地道に取り組み、最後までやり遂げる事が出来ました。この達成感は、今後、何事も根気強く取り組む力に繋がると実感しています。

この1年間で学んだ事を活かし、人々の思いに寄り添いながら地域に根差した支援が行える保健師になりたいと思います。

Special Curriculum

高知学園短期大学の特色ある教育



健康教育演習

Health Education Exercises

食・教育・医療を総合した健康教育を通して付加価値を有する専門的職業人を育成します。

高知学園短期大学には、人々の生活に欠かすことができない食、教育、医療の分野を専門とする3学科があります。これらは決して別々の分野ではなく、相互に関連しあう分野なのです。

例えば、人の健康には病気の予防・対策といった医療だけでなく、日常生活の食事、さらに幼少期からの基本的生活習慣を確立させる教育が関わっています。全ての学科が協力しあえば、本学だからできるユニークな教育課程を実現し、人々の健康づくりに貢献することができるでしょう。本学では入学時から卒業まで「健康」に焦点を当てた教育を取り組んでいます。

【子どもの歯みがき指導】

本学には、各学科の専門性を活かした全学共通のカリキュラムとして健康教育があります。その一つとして「歯」に焦点を当て、子どもの健康を支えるための歯みがき指導を実践する授業が2年次にあります。歯みがき指導といえば、歯科衛生学科がそのスペシャリストを養成しています。

そこに高知学園大学健康科学部管理栄養学科(以下、管理栄養学科)が歯の健康に適切な子どものおやつを考えること、幼児保育学科が歯みがきの大切さを伝える手遊びや劇を実演すること、また高知学園大学健康科学部臨床検査学科(以下、臨床検査学科)がデータを分析して健康チェックを行うこと、さらに看護学科が感染予防のための正しい手洗い指導を伝えることなど、全学科が各分野の専門性を生かして取り組むことによって、全身の健康管理を踏まえた内容の歯みがき指導を展開していきます。

同時に、多様な専門性を自分たちの専門分野へ取り入れることによって、より高度な専門的職業人に成長することができます。

【高齢者の健康支援】

さらに、高齢者の健康支援も学ぶことができます。幼児保育学科が歌や手遊びを通して孫のような学生たちと高齢者が交流を図り、明

るく元気に過ごす活力を育んでいます。医療の面からは、歯科衛生学科が口腔体操を通じた健康づくりの活動を展開し、看護学科は高齢者的心身の特徴をふまえて安全な日常生活を送るために心がけることを考えています。

その上で、高知学園大学としても、健康科学部管理栄養学科が疾病予防のための食事について考案し、臨床検査学科が臨床検査値に基づいて身体をチェックし、特に骨粗しょう症に焦点を当ててケアをするなど、大学も協力して学びを深めています。

少子高齢化が進む現代社会であるからこそ、高齢者と幅広い世代の人々が交流しあえる社会づくりが求められています。そして、これらの学習の集大成として「イキイキ健康フェア」を開催し、地域の高齢者の方と交流しながら実践しています。

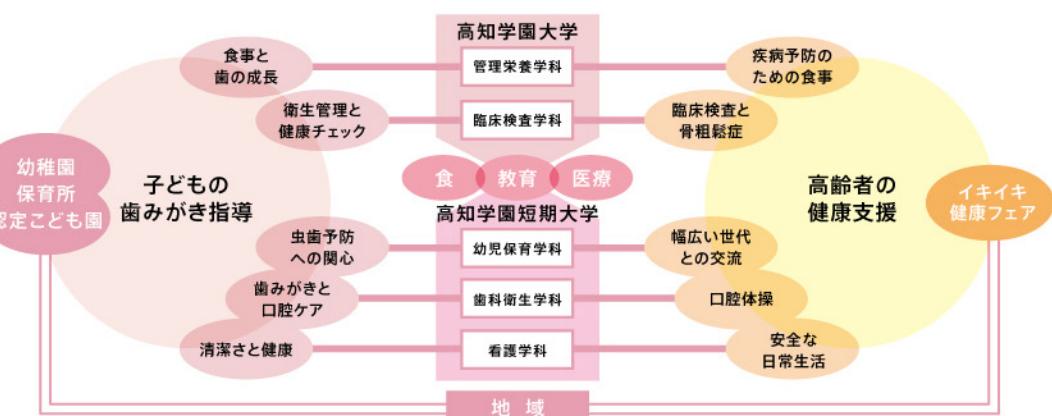
高知学園短期大学であれば、自分たちの専門性を軸に幅広い研究分野を生かした付加価値を有する専門的職業人として、総合的に社会の健康を支えていくことができるのです。

また、これらの活動を通して他学科の学生同士が親交を深めることは、普段の授業では学ぶことができない広い知識と技能を身につけていくことにもつながります。さらに、卒業後も友だち関係を継続していくことは、異なる職種との人脈を広げ、お互いに連携しあうことができる貴重な財産になるのです。

ガクタンだからできる 付加価値を有する専門的職業人を育成します。

全国には資格取得が可能な大学はたくさんあります。しかし、食、教育、医療といった各専門性から総合的に健康を支える人材を育成できる大学は限られています。高知学園短期大学はその数少ない大学の一つなのです。自分の専門性を活用できることは専門的職業人として当然の役割です。本学はその枠だけには止まらず、各学科が他の専門性も有効かつ適切に活用することによって、高度で幅広い専門性を身につけた人材を育成しています。

この付加価値をもつ人材が「ガクタン・スタイルの専門的職業人」であるとともに、「日本一の健康長寿県構想」を掲げる高知県を中心に、全国で貴重な「人財」となることでしょう。



食・教育・医療の専門性を軸に幅広い研究分野を生かした付加価値を有する専門的職業人

高知学園短期大学のポリシー

Our Policy

1. 教育目的と教育基本方針

【教育目的】

本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、広い教養を授け、専門的職業教育を施すと共に、社会人を育成し、もって人類の福祉と文化の進展に寄与することを目的とする。(学則第1条)

【教育基本方針】

高知学園の象徴、「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身についた専門的職業人を育成する。
(高知学園短期大学の教育目的に関する規程第2条)

2. 学科の教育目的

(高知学園短期大学の教育目的に関する規程第3条)

■ 幼児保育学科

子どもたちの「生きる力の基礎」を育むために、豊かな人間性を身につけるとともに、情報を適切に収集し、選択・活用する能力、知識を有機的に結びつけ構造化する力、組織的・協同的に諸課題に取り組む力など、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって主体的に高めていくことのできる幼稚園教諭、保育士及び保育教諭を養成する。

■ 歯科衛生学科

幅広い教養を深めるための基礎分野では、豊かな人間性と倫理観、異文化を理解することによりグローバルな視点を培い、多様な講義・演習・実習の専門分野では専門的職業人として主体性をもち、継続的な口腔衛生管理及び食支援をすることができる知識と技術を習得し、生涯にわたり自己研鑽を重ねる志とコミュニケーション力を兼ね備えた歯科衛生士を養成する。

■ 看護学科

専門的知識・技術を教授し、科学的・論理的思考を養い、かつ演習や実習を通じて実践能力を身につけ、社会の健康課題を人々と共に解決し、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる豊かな人間性・創造性・主体性をもった看護専門職者を養成する。

3. 高知学園短期大学が定める学習成果と方針

■ 学習成果

(高知学園短期大学卒業時に身につけるべき能力)

高知学園短期大学では、教育基本方針に基づき、食・教育・医療各分野における専門的職業人として「平和と友愛」に貢献する人材を育成するため、本学における教育と学習を通じて次の四つの能力を獲得することができる。

①専門的職業人として必要な知識と技能を身につけ、その内容と意義を説明することができる。

②社会の状況を積極的に受け入れる柔軟な感性を持ち、周囲に広げていくことで、最新の知見を導き出し、適切な判断を下すことができる。

③「平和と友愛」に貢献するため、倫理的な観点から専門的知識と技能を活用して考え方を自ら行動することができる。

④自分の意見を的確に伝えると同時に多様な人々の意見を聞くことによって、相互に理解し尊重しあいながら自分の役割を果たすことができる。

■ 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

(高知学園短期大学を卒業する時に求められる人物像)

高知学園短期大学では、本学学生が「学習成果」を達成して人類の福祉と文化の進展に寄与していくため、本学における教育と学習を通じて以下の能力を獲得した者に短期大学士の学位を授与する。

①食・教育・医療それぞれの専門性における知識や技能を習得し、全学及び各学科・各専攻の教育目的に合致する資質と能力を獲得した者。

②本学が掲げるキャリア形成基礎力の四つの能力「感じ、広げる力」「前に踏み出す力」「考え方」「チームで働く力」を身につけた者。

③人命を預かる責任感と倫理観を有し、世界や地域の動向を理解して平和と友愛へ貢献するために専門的知識と技能を活用する実践力を備えた者。

④広い視野から人命を尊重するとともに、専門的知識や技能を活用しながら、多様な人々と協働し学び続ける力を有する者。

■ 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

(高知学園短期大学における教育活動の体系化と実施計画)

高知学園短期大学では、平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と社会性を身についた専門的職業人を育成するため、以下の方針に基づいて教養教育と専門教育の区分を軸とした教育課程を編成し、質の高い教育を実施する。

①人々の健康的な成長と豊かな生活に貢献できる専門的職業人を育成するため、専門的な知識や技能に基づく分野を学科・専攻別に設定した専門教育の課程を編成し、生命を預かる責任感と倫理観に基づく総合的・創造的な実践力を段階的に養う教育を実施する。

②食・教育・医療の各専門性を尊重しながら学科横断的に協働することを通して、多角的に思考し専門性を高める教育を実施する。

③さまざまな問題の原因を探り課題を克服しながら成長できる専門的職業人を育成するため、具体的な授業内容と到達目標及び授業以外で学習すべき内容を明確に示す教育課程を編

成し、自ら計画を立てて主体的に学ぶことができる教育を実施する。

④食・教育・医療各分野から平和と友愛に貢献する専門的職業人を育成するため、広い視野から思考し実行する教養教育の課程を学科・専攻別に編成し、世の人々のために役立つ責任感と倫理観をもって価値の多様性を知る教育を実施する。

⑤グローバルな視点から文化を理解し尊重するため、教養教育に「芸術と文化」を基本とする分野を編成し、外国語や文学及び文化の基礎的知識を深める教育を実施する。

⑥科学的思考に基づき、一つの問題を幅広い視野から考えるため、教養教育に「社会と自然」を基本とする分野を編成し、多様な人々と協働し理解しあえるコミュニケーション能力と情報を収集する力を育む教育を実施する。

⑦人々の健康を支え、自らが主体性をもって活動に取り組むため、教養教育に「運動と健康」を基本とする分野を編成し、体験を通して健康と運動との関連について理解を深める教育を実施する。

⑧自らの成長と課題を自覚することができる専門的職業人を育成するため、基礎から応用へと段階的に発展する教育課程を編成し、学生自らが新たな目標を定め主体的に学ぶことができる教育を実施する。

以上の方針の下、獲得された学習成果を高知学園短期大学・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■ 入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)※抜粋

(高知学園短期大学が入学者として求める人物像)

高知学園短期大学のいづれの学科に学ぶ学生に共通して身につける能力は、(1)学びに熱心に取り組むこと、(2)変化する時代、進歩する技術に敏感に対応すること、(3)常に挑戦する心を持っていること、(4)人間関係が円滑に結ぶことである。そこで、本学では、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができる入学者として求めている。

- ①深く学ぶことを求めている人。
- ②自己実現を目指している人。
- ③強い意志を持っている人。
- ④広い心を保ち、高い理想に燃えている人。

幼児保育学科

■ 学習成果

幼児保育学科では、子どもの健やかな成長を育むことで、世界の平和と友愛に貢献できる社会人となるため、次に掲げる能力を獲得する。

①子どもたちの集団生活を育む教育・保育に必要な知識と技能を獲得することで、問題を発見し理論的な洞察力で解決することができる。

②多様な情報を客観的に理解し社会貢献に向けた適切な判断力と自尊感情を獲得することで、子どもの心身の発達を支援することができる。

③愛情に満ちた豊かな人間性を獲得することで、健やかな成長に適した環境を構成することができる。

④最新の教育・保育理論を備えた保育の指導計画を立案し実践する能力を獲得することで、保育に関する指導を行うことができる。

■ 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

幼児保育学科では、平和と友愛の精神に則り、次に掲げる資質を身につけた者に短期大学士(幼児保育学)の学位を授与する。

- ①保育者に必要な専門的知識及び基本的技能を身につけた者。
- ②多様な視点から現実を深く洞察することで、社会的状況を分析しながら人命を預かる責任感を身につけた者。
- ③子どもの健やかな成長を願う豊かな人間性を身につけた者。
- ④社会の諸問題に対して、子どもの教育・保育に基づいた考えをまとめ、表現し、行動することができる者。

■ 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

幼児保育学科では、幼稚園教諭と保育士、保育教諭を養成するための教育課程を基本とし、保育を通して世界の平和と友愛に貢献するために有益な教養教育と専門教育の教育課程を編成し、特に以下に掲げる目標を達成するための教育を実施する。

①教育・保育における応用的・実践的な理論・技能への発展性と一貫性を理解する総合的な教育課程を編成することで、保育者として果たす責務を認識し、専門性を向上する教育を実施する。

②保育の領域について、領域それぞれの学問的背景や基盤となる考え方を学ぶため、「教育及び保育の領域」の分野を編成し、保育内容に基づいて子どもを理解する教育を実施する。

③教育保育の理念や子どもの心身の発達に寄与する役割を自覚するため、「教育及び保育の本質・目的・対象の理解」の分野を編成し、子どもの発達に基づいて保育の重要性を考える教育を実施する。

④教育・保育を通じて育みたい資質・能力を子どもの生活から捉えるため、「教育及び保育の内容・方法」の分野を編成し、子どもの生活中から幼児保育学の基礎理論や表現技術、指導の方法を身に付ける教育を実施する。



高知学園短期大学のポリシー

Our Policy

◎食・教育・医療の各専門分野と連携して、子ども理解を深める保育者を養成するため、「総合的専門科目」を編成して、子どもの健康を多様な視点から考え、他の専門分野と学科横断的に連携する教育を実施する。

◎教育・保育の現場で子どもの最善の利益を尊重する姿勢を育てるため教育実習・保育実習の分野を編成し、専門的理論及び技能を正しく活用した保育実践力を養う教育を実施する。

◎常に教育・保育に関する新しい問題に向かって、原因を究明しながら成長できる専門的職業人を養成するため、授業で学習する内容と授業以外で学習する内容を結びつけて理解を深める教育課程を編成し、子どもの心身の発達を理解し主体的に学ぶことのできる教育を実施する。

◎学習成果を適切にフィードバックする教育を実施するため、学修ポートフォリオを導入して学生が自らの学びを振り返り、目標を立てて達成度を確認できるようにする。

◎教養教育では、倫理的な責任感に基づいて広い視点から保育の意義を考え実践するための教育を実施する。

◎グローバルな視点から子どもの成長を考え、多様な文化を尊重する保育者を養成するため、教養教育に「芸術と文化」の分野を編成し、外国語や文学及び文化の基礎的理解を深める教育を実施する。

◎科学的思考に基づき、あらゆる問題を幅広い視野から思考できる保育者を養成するため、教養教育に「社会と自然」の分野を編成し、多様な人々と協働し理解しあえるコミュニケーション能力と情報を収集する力を育む教育を実施する。

◎子どもの健康を支え、自らが主体性をもって活動に取り組むため、教養教育に「運動と健康」の分野を編成し、スポーツや体験を通して健康と運動の関連について理解を深めるための教育を実施する。

④日常生活におけるさまざまな問題を幼児保育の観点から発見し、問題を積極的に解決しようとする意欲と姿勢を持った専門的職業人を養成するため、基礎から応用・実践へと段階的に発展する教育課程を編成し、学生自ら目標を立てて主体的に取り組む教育を実施する。

以上の方針の下、獲得された学習成果を幼児保育学科・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)※抜粋

幼児保育学科では、卒業認定・学位授与の方針にかなうために、(1)あらゆる教育科目に精一杯取り組む人、(2)常に模範的な行動と態度を心がける人、(3)目標を達成するまで絶対にあきらめない人、(4)人々と協力しあいながら自分自身と仲間の成長を志す人が求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して以下の準備ができている人を入学者として求めている。

①全般的な基礎学力を有する人。

②規律を守る人。

③大学生活を最優先に考えた基本的生活習慣を確立している人。

④多様な人々とのコミュニケーションを大切にできる人。

歯科衛生学科

■学習成果

歯科衛生学科では、教育目的に基づき、専門的職業人として継続的な口腔衛生管理及び食支援をするため、次に掲げる能力を獲得する。

- ①専門的知識と技能を身につけ思考力・判断力を高めることにより、口腔衛生管理と健康支援をすることができる。
- ②倫理観を持ち、生活背景・人生経験豊かな人たちを敬い傾聴すること、また異文化を理解することにより、さらにコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③良好な人間関係を構築し、他職種と協働・連携することにより地域貢献を推進していく主体的な力を持つことができる。
- ④自己研鑽を重ね、情報収集し、課題解決をプレゼンテーションする構成力と表現力を身につけることができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

歯科衛生学科では、学習成果に基づき、口腔衛生管理の専門職になるために次に掲げる資質を身につけた者に短期大学士(歯科衛生学)の学位を授与する。

- ①根拠に基づいた全人的観点から継続的な口腔衛生管理及び食支援ができる知識と技術を身につけた者。
- ②豊かな人間性と倫理観を持ち、異文化を理解し価値観を尊重したうえで言語等を通して人を敬い傾聴する姿勢を身につけた者。
- ③保健・医療・福祉を総合的に捉え、良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を持ち地域及び他職種と協働・連携ができる者。
- ④将来に向けてのミッションを持ち、考え方を広げ学び続ける意欲と課題解決をまとめプレゼンテーションできる能力を有する者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

歯科衛生学科では、広い教養と良識のある歯科衛生士を育成するための教育課程を編成し、歯科医療の高度化と多様なニーズに対応するための知識と技能を習得することを基本とし、以下に掲げる目標を達成するための教育を実施する。

- ①基礎分野教育課程を編成することで、良好な人間関係を構築するために科学的思考の基礎及び人間と生活に必要な教育課程を編成し、豊かな人間性とロジカルな思考プロセスを組み、言語を通してコミュニケーション力を養うための教養教育を実施する。
- ②専門基礎分野教育課程を編成することで、人体の構造と機能及び疾病の成り立ちと予防など基本的知識を習得するとともに健康に関わる社会の仕組みを理解するために必要な教育課程を編成し、基本的な専門基礎教育を実施する。
- ③専門分野教育課程を編成することで、口腔に関わるより専門的な知識と技術を習得するとともに、保健医療人としての基

本的な態度・論理的思考に必要な教育課程を編成し全人的視点からの継続的な口腔衛生管理及び食支援ができる専門教育を実施する。

- ④選択必修分野教育課程を編成することで他職種と協働・連携の重要性を理解するために必要な教育課程を編成し、3年間のまとめとして健康教育での学びをプレゼンテーションする力を高める自主的な教育を実施する。

以上の方針の下、授業で学習する内容と授業外で学習する内容を結びつけて理解を深める教育を体系的に編成して実施し、獲得された学習成果を歯科衛生学科・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)※抜粋

歯科衛生学科では、卒業認定・学位授与の方針にかなうために、(1)気持ちを共有することができる人、(2)話を聞くことができる人、(3)歯科衛生学を学ぶ意欲がある人、(4)協調性があり、協働できる人が求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して以下の準備ができている人を入学者として求めている。

- ①明朗活発で国際的にも見間を広める意欲と人を敬い傾聴できる人。
- ②倫理観を身につけ他職種と協調性を持ち歯科医療を担うという職業的使命感を有する人。
- ③前向きな姿勢と自主性があり学習意欲のある人。
- ④専門職として学び続ける意欲があり、生命の尊さや喜びを感じることができる人。

看護学科

■学習成果

看護学科では、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる看護専門職者となるため、所定の教育課程を修了することで、次に掲げる能力を獲得する。

- ①専門的知識を用いてアセスメントを行い、対象に必要な看護を判断することができる。
- ②様々な健康課題を持つ対象に応じた看護計画を立案し、習得した看護技術を安全に実施することができる。
- ③実践した看護を振り返り、評価・修正を行うことができる。
- ④看護の対象と援助関係を築き、価値観を尊重した看護を行うことができる。
- ⑤学習と体験をつなげて考え、学びを統合することができる。
- ⑥自己を客観的に見つめ、考え方を適切に伝えることができる。
- ⑦状況に応じて、適切に報告・連絡・相談することができる。
- ⑧チームの一員としての自覚を持ち、自己の役割をはたすことができる。
- ⑨広く社会の情勢を知り、主体的・積極的に学習に取り組むことができる。

- ⑩看護の責任ややりがいを認識することができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

看護学科では、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる看護専門職者を目指し、次の要件を満たすと認められる者に短期大学士(看護学)の学位を授与する。

- ①看護の専門的知識や技能を習得し、根拠に基づいた看護を実践する能力を有している。
- ②看護専門職者としての倫理観をもち、対象を尊重した看護を実践する能力を有している。
- ③学習と体験を統合し、対象の健康レベルと生活の質の向上のために深く思考する能力を有している。
- ④他者との協働関係を構築するために、自己を客観的に理解し、表現する能力を有している。
- ⑤看護の価値を見出し、生涯学び続ける力を有している。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

看護学科では、社会の健康課題を人々と共に解決し、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる豊かな人間性・創造性・主体性をもち、学習成果に示した能力を有する看護専門職者を養成するため、以下の方針に基づいて教養教育と専門教育の区分を柱とした教育課程を編成し、教育を実施する。

- ①人間や社会の営みをグローバルな視点から理解するための「社会と自然」、「芸術と文化」に関する科目、および人間の健康的な生活を理解するための「運動と健康」に関する科目を教養教育科目として教育課程を編成し、豊かな人間性を培い、看護学の基盤となる様々な学問領域における知識や教養を身につけるための教育を実施する。
- ②個人、家族、地域社会それぞれの健康レベルに応じ、倫理的視点をもちながら根拠に基づいた看護を実践するために、専門教育科目では系統的かつ基礎から応用・統合へと段階的に学習する教育課程を編成し、学習と体験を統合した思考ができる教育を実施する。



高知学園短期大学のポリシー

Our Policy

③グループワークやロールプレイなどの演習を含む科目や実習科目を通して、各々の価値観を尊重しながら倫理的態度で他人と関わる力を有する看護専門職者を養成するための教育を実施する。

④看護統合分野では、それまでの学びを統合するとともに、課題を探求・考察する能力を育てるための教育課程を編成し、学生自らが主体的に学ぶことができる教育を実施する。

以上の方針の下、獲得された学習成果を看護学科・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)※抜粋

看護学科では、豊かな人間性と倫理観に基づき、看護の知識や技術を活用して自ら判断し行動できる看護専門職者の養成を目指しており、卒業認定・学位授与の方針を達成するために、すべての入学者選抜制度に共通して以下の準備ができる人を入学者として求めている。

- ①他者及び自己のこころと身体の健康、生活に関心がある人。
- ②看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、自ら学ぶ意欲と態度、習慣を備えている人。
- ③積極的に物事に取り組み、自分の力を高めていける人。
- ④コミュニケーションを大切にし、他者と共に成長できる人。
- ⑤社会の一員としての意識を高くもつことができる人

専攻科応用生命科学専攻

■学習成果

専攻科応用生命科学専攻では、臨床検査の実践力と研究能力を有する専門的職業人を養成するため、本専攻の教育目的に基づき次の能力を習得する。

- ①臨床検査学の基礎的知識・技術を基に、生命科学分野から保健医療分野における高度な専門的知識と技術を習得し、その内容・意義について評価し説明することができる。
- ②生命科学・保健医療分野の進歩やそれに対する社会の状況を把握するため、自ら最新の知見を情報収集して問題点・研究課題を抽出し、解析・考察することができる。
- ③研究課題や演習の遂行において、倫理的配慮を行うことができる。
- ④他者とのディスカッションを通じ、自らの意見を伝え、相手の考えを聞くことにより、コミュニケーション能力を培い、より良い人間関係を構築できる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

専攻科応用生命科学専攻では、生命科学や保健医療の分野で貢献できる人材となるために次の能力を習得したものに対し、修了認定を行う。

①生命科学・保健医療分野の高度な専門的知識や技術を習得した者。

②自ら行った実験・研究を通じ、問題解決に必要な知識・技術を融合的に応用できる能力を養い、研究論文作成法を習得できた者。

③生命科学・保健医療を学び活用する者として、責任感と倫理観を有し、それを実践できる者。

④コミュニケーション能力を培い、他者と適切な人間関係を築くことにより、医療に携わる者としての資質を備えた者。

(学位授与)専攻科修了者のうち、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定める要件を満たした者には、学士(保健衛生学)の学位が授与される。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

専攻科応用生命科学専攻では、学位授与認定の目的を達するため、次のようなカリキュラムを編成し、実施する。

- ①高度な医療技術者であるとともに応用力のある人材を育成するため、生命科学・保健医療分野の幅広いカリキュラムを編成し、専門的職業人として備えるべき素養と実践力を習得できる教育を実施する。
- ②修了研究として各研究分野のテーマを取り組むことにより、それまでに学習した理論、知識、技術を複合・融合的に駆使し、課題探求能力を主体的に習得できる教育を実施する。
- ③生命倫理に関する知識を基盤として、移植医療・生殖医療・遺伝子解析などの分野や、修了研究において、対象者への倫理的配慮を習得できる教育を実施する。
- ④ゼミ形式の授業や修了研究において発表を行うことで、プレゼンテーション・コミュニケーション能力を習得できる教育を行う。

以上の方針の下、獲得された学習成果を専攻科応用生命科学専攻・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)※抜粋

専攻科応用生命科学専攻では、卒業認定・学位授与の方針を達成するために、(1)臨床検査学の基礎的知識・技術を活用し、さらに高度なレベルを目指す人、(2)論理的思考を展開できる人、(3)目的を持ち主体的に努力する人、(4)協調性に富み、社会・医療への貢献の意識が高い人が求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができる人を入学者として求めている。

- ①臨床検査学の基礎的な知識・技術を有し、さらに高度な専門的知識・技術を学びたい人。
- ②自ら学び、課題を探求し、解決する論理的思考力を備えた人。
- ③明確な目的意識を持ち、意欲と主体性を持って勉学に励み、努力を継続できる人。
- ④他の人と協調して社会や医療の対象者に貢献する意欲のある人。

専攻科地域看護学専攻

■学習成果

専攻科地域看護学専攻では、本専攻科の教育目的に基づき、学習成果を以下の通りに定める。

- ①公衆衛生看護学の知識・技術を用いて個や集団を統合的に理解し、健康課題を明確にできる。
- ②人々の生活を多面的に捉え、対象者自身が生活習慣の改善に向けて取り組むための援助ができる。
- ③集団の中の自分の位置を理解し、状況にふさわしい方法でリーダーシップを発揮することが出来る。
- ④コミュニティの中にある組織活動の役割や意義を知り、住民主体の自主活動への支援について理解できる。
- ⑤公的な組織の構造と機能、健康課題の解決に向けた地域の中のケアシステムを理解できる。
- ⑥対象者のもつ権利を擁護するための看護専門職者の役割を考え、状況に応じた方策を導き出すことができる。
- ⑦看護に関する自らの疑問を文献検討に基づいて洗練化し、収集したデータについて、論理的に解釈することができる。
- ⑧看護に関する自らの疑問に取り組んだ結果を、他者に理解できるよう表現し、伝えることができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

専攻科地域看護学専攻では、地域で生活している人々の健康増進を目指すとともに地域全体の健康水準の向上に貢献できる看護専門職者として活躍できるよう、以下に示す知識と技能、態度を習得した者に課程修了を認定する。加えて独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定める要件を満たした者には、学士(看護学)の学位を授与する。

- ①人々の生活と健康に関する解剖生理学的知識や行動心理学的知識、公衆衛生看護学の知識を基盤に、多様な背景をもつ対象者の主体性や価値観を尊重した関係を築き、行動変容に導くことのできる能力を有する。
- ②国や地方自治体が掲げる健康施策の理解と将来的な予測に基づき、地域の健康課題を明確にし、他者と連携・協働しながら組織的に課題を解決するための企画力や調整力、リーダーシップを有する。
- ③地域の中にある倫理的な問題に対して、権利擁護の視点から考え、看護専門職者として向き合い、常に自身の行動を振り返って考えることができる力を有する。
- ④研究テーマについての文献検討と論文作成、プレゼンテーションを通して論理的思考力や表現力を高め、看護の質の向上に向けて主体的に活動できる力を有する。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

専攻科地域看護学専攻では、教育目的に示した保健師と養護教諭一種(養護教諭二種免許状取得者のみ)を養成するため、以下の方針に基づいて、公衆衛生看護に関する基本的知識を、講義、演習、実習と段階的・系統的に応用し、実践力を獲得できるよう教育課程を編成し、実施する。

①公衆衛生看護学概論を基盤として、対象理解とアセスメント、家庭訪問、健康相談、健康教育、保健計画、地域組織活動といった公衆衛生看護活動についての基本的な知識と技術を習得するための教育を実施する。

②公衆衛生保健指導論として母子・成人・高齢者・精神・障害者(児)・産業保健・学校保健といった分野別に、対象に応じた保健指導に必要な知識と技術を習得するための教育を実施する。

③対象を的確にとらえ、多様な側面から健康課題を明確にできる視点を養うため、疫学、保健統計学Ⅱ、外国語、情報科学Ⅲを設定し、集団や組織の情報把握、情報処理の知識と技術を習得するための教育を実施する。

④既修得科目を統合して対象地区の状況に合わせた公衆衛生看護を実践する力を養うために公衆衛生看護実践論、公衆衛生看護管理論、保健医療福祉行政論を設定し、行政の保健師の役割と地域ケアシステムについて理解を深めるための教育を実施する。

⑤個人・家族・集団・組織の支援実習、公衆衛生看護活動展開論実習、公衆衛生看護管理論実習を設定し、臨地において指導を受けながら公衆衛生看護活動を具体的に理解し、倫理的な視点をもって人々と協働し、看護を実践するための教育を実施する。

⑥修了研究に取り組み、論理的思考力や表現力を高め、専門職としての自己教育力を強化するための教育を実施する。

上記①～⑥の方針のもと、獲得された学習成果を専攻科地域看護学専攻・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)※抜粋

専攻科地域看護学専攻では、卒業認定・学位授与の方針を達成するために、以下の入学者として求めている。

(1)個人・家族・集団・組織の健康状態を査定し健康課題の発見に努力できる人、(2)個人・家族・集団・組織の健康課題の解決に向けた熱心に取り組める人、(3)健康課題の解決に向けて他者とともに取り組もうと努力する人

そのため、以下の準備が出来ている入学者として求めている。

①看護学の基礎的な知識と技術をもち、地域で生活する人々や地域全体の健康に関心をもっている人

②論理的な思考力や表現力を備え、人々の健康や看護に関する課題について探求する意欲のある人

③人々と協力しながら、理想に向かって主体的に学び続ける意欲のある人



社会へ巣立つ前に必要なチカラを身につける お手伝いをします。

豊かな教養を身につけたスペシャリストは、社会で求められる人材です。本学は、学生の皆さん一人ひとりが社会人として、また専門職として自立するために必要な基盤である資質能力の獲得ができるよう教育体制を整えています。

「人生100年時代の社会人基礎力」として、経済産業省から3つの能力〈前に踏み出す力〉〈考え方力〉〈チームで働く力〉と3つの視点〈どう活躍するか【目的】〉〈何を学ぶか【学び】〉〈どのように学ぶか【組み合わせ】〉が示されました。本学では、それらキャリア形成基礎力に「感じ広げる力」を加え、学生が講義や実習、課外活動など大学生活の様々な場面を通して学び、さらにリフレクションしながら前向きに進んでいくようサポートしていきます。

技術革新によって知識やスキルが次々と変化する時代、自然災害の発生など複雑で不透明な時代を生き抜くためには、自らのキャリアを自らが考え、それを実現するために必要なスキルを身につけ、常に学び続けながらアップデートしていくことが不可欠となります。本学では、そのような力を身につけた専門職業人として、地域においてなくてはならない存在として成長していくよう見守り、支援していきます。



一線で働く講師陣によるキャリアセミナー(実績より)



キャリアセンター長
大野 由香

**キャリアセンターは、
みなさんのカタリバです。**

進路や就職先がしっかり決まってなくても大丈夫。一人で悩まずに、まずはフラッと立ち寄ってみてください。キャリアセンターは、皆さんを歓迎します。あなたにとって必要な情報が手に入る、そんな“カタリバ”でありたいと思っています。

本学の専門的職業人を育成する方針 (キャリア・ポリシー)を次のように掲げています。

高知学園大学および高知学園短期大学では心が広く豊かな高度専門的職業人として誇りあるキャリアを形成します。

- (1) 感じ、広げる力
- (2) 前に踏み出す力
- (3) 考え抜く力
- (4) チームで働く力の
重要性を理解し、自ら
行動できる社会に貢献できる
人材を育成します。



キャリアデザインノート

12年連続 100%の就職率。

主要学科就職職業別構成 2020年度実績



〈就職・進学先〉※2020年度実績

■ 幼児保育学科 (幼稚園教諭、保育士、その他)	有限会社互美商 高知トヨタ自動車株式会社 大阪リフトサービス株式会社	医療法人財団光明会 明石こころのホスピタル 医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院 兵庫県立病院 医療法人医誠会 医誠会病院
■ 歯科衛生学科 歯科衛生専攻 (歯科衛生士)	ひやっこ歯科 田岡歯科・矯正歯科クリニック 高知駅つちもと歯科 西内歯科医院 吉野歯科 嶋本歯科医院 佐々木歯科診療所 嶋本歯科クリニック 歯科地球3番地 依岡歯科 まるとみ歯科医院 岡西歯科診療所 久万田歯科 医療法人黎明会 ファミリーデンタルクリニック 医療法人悠久会 宮川歯科医院 友永歯科 たにもと歯科・矯正歯科 横田歯科クリニック 医療法人社団幸陽会 間瀬デンタルクリニック	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター 社会医療法人近森会 近森病院 医療法人新松田会 愛宕病院 公益財団法人 高知県総合保健協会 独立行政法人 国立病院機構 株式会社LSIメディエンス 香川大学医学部附属病院 医療法人日赤病院 田野病院 医療法人ごにしきクリニック
■ 専攻科応用生命科学専攻 (臨床検査技師)	高知赤十字病院 高知大学医学部附属病院 社会医療法人近森会 近森病院 医療法人新松田会 愛宕病院 公益財団法人 高知県総合保健協会 独立行政法人 国立病院機構 株式会社LSIメディエンス 香川大学医学部附属病院 医療法人日赤病院 田野病院 医療法人ごにしきクリニック	高知赤十字病院 高知大学医学部附属病院 社会医療法人近森会 近森病院 医療法人新松田会 愛宕病院 公益財団法人 高知県総合保健協会 独立行政法人 国立病院機構 株式会社LSIメディエンス 香川大学医学部附属病院 医療法人日赤病院 田野病院 医療法人ごにしきクリニック
■ 専攻科地域看護学専攻 (看護師、保健師、養護教諭)	高知赤十字病院 高知大学医学部附属病院 社会医療法人近森会 近森病院 医療法人新松田会 愛宕病院 公益財団法人 高知県総合保健協会 独立行政法人 国立病院機構 株式会社LSIメディエンス 香川大学医学部附属病院 医療法人日赤病院 田野病院 医療法人ごにしきクリニック	高知赤十字病院 高知大学医学部附属病院 社会医療法人近森会 近森病院 医療法人新松田会 愛宕病院 公益財団法人 高知県総合保健協会 独立行政法人 国立病院機構 株式会社LSIメディエンス 香川大学医学部附属病院 医療法人日赤病院 田野病院 医療法人ごにしきクリニック
■ 生活科学学科 (栄養士、栄養教諭、その他)	株式会社高南メディカル 富士産業株式会社 株式会社メフオス エームサービスジャパン株式会社 シダックス株式会社 日清医療食品株式会社 医療法人香美会 あいの里 認定こども園 わらべ館 洲本たちばな福祉会 株式会社ホンダカーズ高知 株式会社ボーラー	高知赤十字病院 高知大学医学部附属病院 社会医療法人近森会 近森病院 医療法人新松田会 愛宕病院 公益財団法人 高知県総合保健協会 独立行政法人 国立病院機構 株式会社LSIメディエンス 香川大学医学部附属病院 医療法人日赤病院 田野病院 医療法人ごにしきクリニック
■ 進学	高知学園短期大学 専攻科応用生命科学専攻 高知学園短期大学 専攻科地域看護学専攻 徳島大学医学部 保健学科 愛媛大学医学部 看護学科	高知学園短期大学 専攻科応用生命科学専攻 高知学園短期大学 専攻科地域看護学専攻 徳島大学医学部 保健学科 愛媛大学医学部 看護学科

株式会社アイ・エム・シーライフステージ
高知県教育委員会

■ 医療衛生学科 医療検査専攻
(臨床検査技師、その他)

高知大学医学部附属病院
社会医療法人近森会 近森病院
医療法人阿村会 岡村病院
医療法人永島会 永井病院
医療法人ウエストWESTほね関節クリニック
医療法人尚智会 高知高須病院
医療法人ソラス高知 フレッククリニック
佐川町立高北国民健康保険病院
医療法人臼井会 田野病院
四万十市職員
徳島県職員
医療法人臼井会 愛育会クリニックママ
株式会社LSIメディエンス
株式会社四国中核
株式会社福山臨床検査センター
医療法人社団善仁会 総合健診センターヘルチェック
社会医療法人若弘会 若草第一病院
公益財團法人香川県総合健診協会
医療法人聖風会 大洲記念病院
総合病院 落合病院
株式会社パソナ

■ 進学

高知学園短期大学 専攻科応用生命科学専攻
高知学園短期大学 専攻科地域看護学専攻
徳島大学医学部 保健学科
愛媛大学医学部 看護学科

※専門学校
RKC 調理製菓専門学校
日本工学院専門学校

※順不同、県内外含む

● 日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構の奨学金は定期的な採用もありますが、突発的な理由で修学が困難になった場合など、本学が窓口となつて相談にのり、修学支援していきます。

● 学生生活のサポート

本学の学生は、広い教養と社会性を身につけると共に、専門的な知識・技能や取得した資格を活用し、就職に挑戦しています。大学生の就職は非常に厳しい中にあって、本学で学んだ優位性により各学科共に就職希望者全員が就職を果たしています。

● 同窓会会長表彰、同窓会表彰

在学中に、文化・スポーツ及び社会活動において特に功績のあった学生に対し、本学同窓会が表彰します。その中でも特に顕著な功績があった学生は、同窓会会長表彰として表彰します。



希望職種という目標を実現できます。

就職活動を行う前に自分自身をしっかりと見つめ、理解することが大事です。学生生活をどのように過ごし、学んだかは卒業後の人生と大きな関わりを持ちます。就職そのものが人生の目的ではなく、仕事とキャリア(人生)という大きな人生設計と捉えて「自分らしい人生のあり方」を支援するため、さまざまなプログラムや情報提供をしていきます。

※各種奨学金の詳細は巻末P.62にご案内しています。

私たちへ。



I HAVE A DREAM.

大きな夢と希望を抱いて入学した
先輩たちの生の声を聞いてみました。



高知学園大学 健康科学部
管理栄養学科 2年
川田 優佳



私は幼い頃から料理が好きで、料理に携わった仕事をしたいと思っていました。色々な仕事を調べるうえで、興味を持ったのが管理栄養士でした。食・栄養のプロフェッショナルとして、人々の健康を守るかっこいい仕事だなと思いました。

管理栄養士になりたいと決めてから、今まで嫌いだった勉強が意味のあるものと感じ、高校生の時、化学や生物の勉強に没頭しました。勉強したこと生きし、私はます高知学園短期大学の生活科学学科に入学しました。次の年、高知学園大学の管理栄養学科が開設されると知り、私は少しでも管理

栄養士に近づける道を選ぶため、短期大学で1年間勉強し、高知学園大学に入学することを決めました。

入学し1年が経った今、私は多くの友人に恵まれ、お互い支え合える仲間ができ、楽しく充実した日々を過ごせています。将来は、チーム医療にかかわることもある管理栄養士として、人を大切にしあえている今のクラスが私は大好きです。

将来は人々の身体の健康だけでなく、心も守れるような信頼される管理栄養士になりたいです。

高知学園大学 健康科学部
臨床検査学科 2年
西尾 碩人



私は徳島県の出身で、高校生の頃に香川県高松市で開催された「第51回中四国支部医学検査学会」に参加し、そこで初めて本学の存在を知りました。もともと臨床検査技師という職業に興味を持っていた私は、何度か本学のオープンキャンパスに参加し、そこでの顕微鏡を扱う体験に惹かれ臨床検査技師になろうと決めました。

入学した当初、私は中高共に文系だったこともあり、名前も知らない多くの器具を扱う実習や膨大な量の専門的な医療知識など、初めての経験から不安に感じることも多くありました。

しかし、実習中では先生の説明を傾聴し多くのメモを取ったり、分からないことがあれば能動的に質問をしたりと、一つ一つの講義に対し積極的に取り

組むよう努力することで、文系の私でも単位を落すことなく楽しく快適に学生生活を営むことができています。

大学生活では、たくさんの先生方や学友に恵まれ充実した日々を送ることができます。今後とも仲間と共に研鑽し互いを高め合う中で、臨床検査技師に必要なスキルだけでなく、コミュニケーション能力や社会に出る上で必要な教養も養っていきたいです。

コロナウイルスという歴史的危機に世界が翻弄される中、今多くの医療従事者が闘っています。このことに敬意を払い、将来臨床検査技師となる身として真摯に学業や大学生活に取り組んでいきたいと思います。



MESSAGE 卒業生からのメッセージ



保育士でがんばっています！

私は、学園短大を卒業して3年が経ちました。短大で過ごした2年間は、あっという間でしたが、今振り返っても一番楽しかった思い出になっています。

保育士になるという同じ目標を持った仲間たちと出会い、その仲間たちと楽しんだり、悩んだり、沢山のこと乗り越え学びました。

学園短大で出会えた仲間は働き始めた今でも、悩みを共有できる大切な友達です。卒業してからの毎日も、あっという間に過ぎてしまいます。砂遊びをしたり、かくれんぼや鬼ごっこをしたり、いろいろなことを経験しながら大きく成長していく子どもたち。その子どもたちの発見に驚かされることが沢山あります。

保育園で過ごす時間はこれから育っていく上の基礎になると言われています。そんな大切な時期と一緒に過ごし、見守っていくことのできるこの仕事を誇りに思います。

高知学園短大でたくさんことを学び、かけがえのない友達との学生生活を楽しみ、元気で笑顔の絶えない保育士・幼稚園教諭の仲間が増えることを楽しみにしています。



歯科衛生士でがんばっています！

私は今、学生時代に臨床実習でお世話になった歯科医院で勤務しています。働き始めた頃は直接患者様に触れることが多いので不安と緊張でしたが、先輩が丁寧に指導してください親身になって支えてくれました。「体の健康はお口から」とよく聞きますが、新型コロナウイルスが流行する中でその言葉の意味の大切さを痛感しました。

口腔内を清潔にする事によって、様々な病気を防ぐことや軽減することができます。この口腔ケアができる歯科衛生士という職業を歯科衛生士になって7年目の今、とても誇りに思っています。歯医者には色々な方が来院し、小さな赤ちゃんからお年寄りまで口の中を通して健方に寄り添うことが出来るのでとてもやりがいを感じます。そして患者様が笑顔になってくれたときや感謝を伝えてくれたときは歯科衛生士になってよかったなと思える瞬間です。

歯科衛生士専攻での学生生活では高校までの授業とは違う専門分野の内容が多くとても新鮮です。初めて学ぶ事が多く不安を感じる事が多いと思いますが、大丈夫です。歯科衛生士の先生方は明るく優しく卒業後も支えてくれます。そして、今でも心の支えになってくれる友達にも出会うことができます。みなさんもぜひ“ガクタン”で歯科衛生士を目指してみませんか。



看護師でがんばっています！

私は現在、急性期病院で看護師として働いています。配属先は、呼吸器外科、呼吸器内科、血液内科・輸血科、皮膚科、眼科、形成外科が含まれた病棟です。がん患者さんや手術など様々な目的で入院する患者さんに対して全身状態の観察や精神的なサポート、身体状態に合わせて身の回りのお手伝いなどを行なっています。

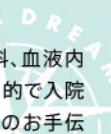
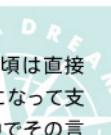
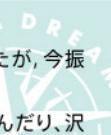
東日本大震災がきっかけで様々な人の役に立ちたいという思いが強くなり、看護の道に進みました。様々な学校がある中で高知学園短期大学は、3年課程で看護師の受験資格が得られ、選択することで養護教諭の資格も取得することができます。また地域について学びたい方は専攻科に進学し保健師の資格を取得することができる魅力の一つだと思います。私は「早く現場に出て人々の役に立ちたい」という思いがあったので3年で卒業しました。

現在は学生時代に実習で学んだことを元に患者さんに寄り添いながら看護師として働いています。看護という仕事は厳しさもありますが、すごくやりがいのある職業だと思います。先生も丁寧にサポートしてください。皆さんも高知学園短期大学で看護について学びませんか。



プロフェッショナルでいこう！

本学での豊かな「知識」と専門課程の「学び」を兼ね備えた豊かな社会人の礎をつくります。みなさんの先輩たちが社会の第一線で活躍しています。



実践に即した環境と設備

Training & Lecture Rooms



実習室(8号館)

高知県産木材を多用した実習室は、無機質になりがちな空間に温もりと落ち着きを与えてくれます。

また、外部とつながる開放的なガラスエリアは、外の気候の変化を感じたり四季の移ろいを楽しむことができる環境を実現しました。

1階は生化学、臨床化学、基礎栄養学などの実習に2階は血液検査、細胞組織標本の染色や観察、人体の構造学などの形態系の実習に、

3階は免疫学、微生物学、輸血・移植検査学等の生体防御に関する検査の実習に使います。



大講義室(7号館)

200インチリアプロジェクターなどを完備した、350名収容の大講義室です。

講演会、研究発表会、学会、継承式、飛翔式、宣誓式などに使用されます。



歯科臨床実習室(5号館)

技術の習得のため歯科医院と同じ
最新の設備があります。



基礎看護実習室(3号館)

実際の病院に近い設備を備えた実習室で、
基礎的な看護技術を身につけます。



生理系実習室(2号館)

心電図、脳波、超音波検査等の生理機能検査や
画像検査の実習、人体の機能学実習を行います。



パソコン実習室(5号館)



講義室(8号館)



講義室(1号館)



給食経営管理実習室(5号館)

本格的な厨房や配膳機を備えて、集団給食の
調理・運営などを実践しながら学びます。



調理実習室(5号館)

IHクッキングヒーターで安心して調理が可能です。
明るくクリーンな実習室です。



食品学実習室(2号館)

食品学総論、各論および食品加工学で学んだ知識を
実際に体得し、経験しながら学びます。

高知県初、木造3階建の校舎

8号館は、主要構造の一部にCLTを用いた「木造3階建の校舎」です。CLTの国内最大寸法12mの壁柱を採用し、三層階通しの、日本でも極めて珍しい工法を用いました。断熱性や遮炎性に加え、高耐力を有したゆとりある実験研究室など、校舎全体が木の温もりに包まれたやさしい学習環境を実現します。



キャンパスライフをサポートする環境

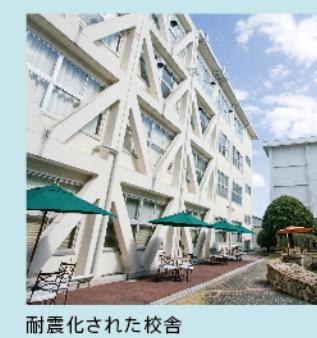
Support Life



災害への備え

学舎の耐震化をはじめ災害への備えも万全。

年に一度の避難訓練や防災用の備品庫を学内各所の見える所に配置することで、日頃から災害に対する危機意識を高めるとともに、緊急地震速報器や防災マニュアル等で万全の対策を整えています。

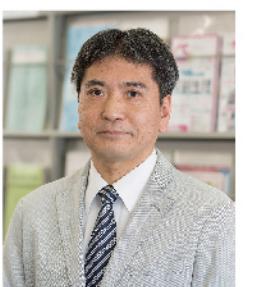


蔵書数8.5万冊のライブラリー。

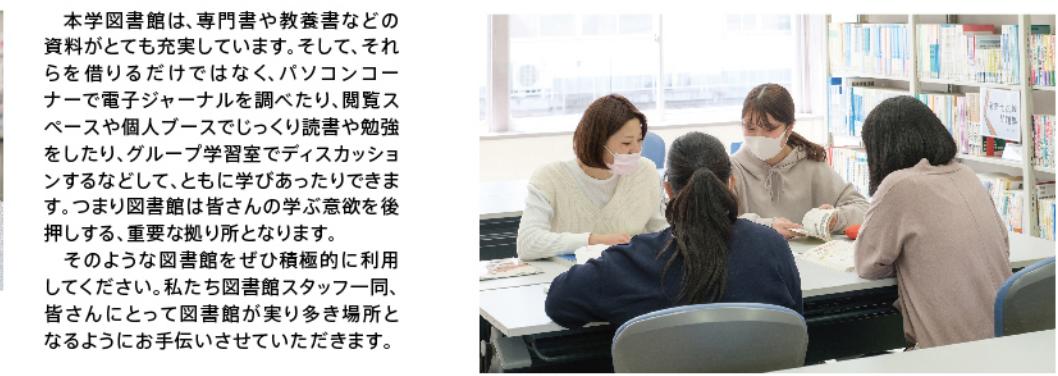
常に最良の「学び」の環境をバックアップします。

大学は、自ら物事を調べ、研究し、思考を進め、その解決の道を模索していくところです。そして図書館は、大学での学習や研究のサポートをする場であり、また、心の豊かさを深め、良書に出会う場でもあります。

本学図書館は、1号館の地階、1階、2階の3つのフロアに、食・教育・医療分野を中心に8.5万冊余りの図書や、学術雑誌（約100種類）、視聴覚資料（約1,400点）を整備しています。特に食と栄養の分野、臨床検査・歯科衛生関係及び幼児教育・保育に係る資料の充実ぶりが高知県内では際立っています。



図書館長 生島 淳



地域との連携(活動実績)

Community Achievement



健康教育演習 I・II

高知学園短期大学は昭和50年頃から、現在の歯科衛生学科が歯科保健活動をスタートし、現在は全学科で健康教育に取り組んでいます。



子育て応援団すこやか



毎年開催されている「子育て応援団すこやか」では絵本の読み聞かせや、手遊びなどのボランティア活動を続けています。



歯っぴいスマイルフェア



高知市歯科医師会主催のイベント「歯っぴいスマイルフェア」に本学の学生と教員が歯からはじまる健康づくりに本学の専門性を活かし共催しています。



イキイキ健康フェア



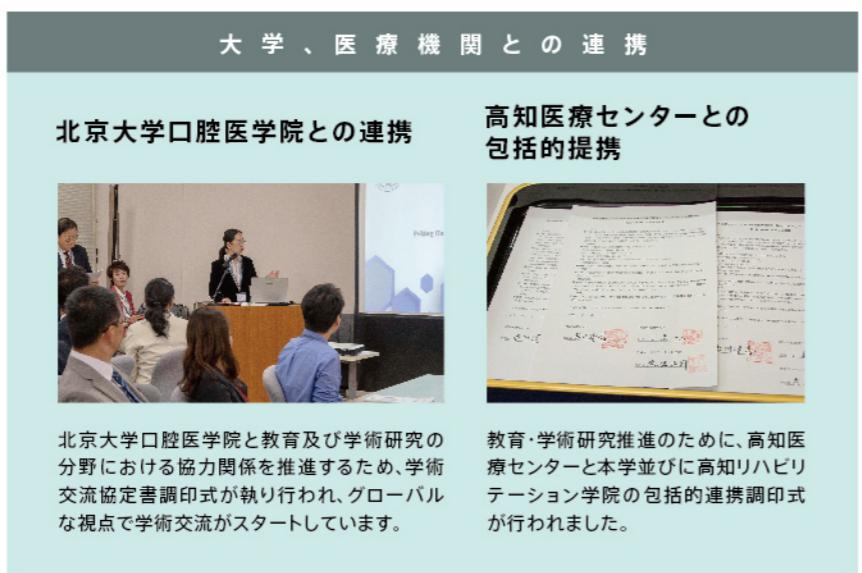
平成27年から地元の旭地区を中心に65歳以上の方々を対象にして、健康に関する「イキイキ健康フェア」を開催しています。近隣地域の方々と学生達の笑顔があふれる楽しいイベントで、本学の活動の一端も紹介し、ふれあいを深めています。



臨床検査をのぞいてみよう



平成26年から3年間、独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」に採択され、次世代を担う臨床検査技師育成のために、高校生を対象に体験実習「臨床検査をのぞいてみよう!」を開催しました。平成29年からは、本学主催の体験イベントとして継続して開催しています。



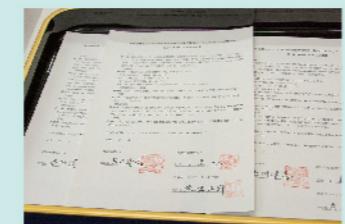
大学、医療機関との連携

北京大学口腔医学院との連携



北京大学口腔医学院と教育及び学術研究の分野における協力関係を推進するため、学術交流協定書調印式が執り行われ、グローバルな視点で学術交流がスタートしています。

高知医療センターとの包括的提携



教育・学術研究推進のために、高知医療センターと本学並びに高知リハビリテーション学院の包括的連携調印式が行われました。

奨学金のご案内

Student Loan



【高等教育の修学支援新制度】

授業料・入学金の免除または減額(授業料等減免)と給付型奨学金の支給。一定の要件を満たすことの確認を受けた大学等を対象機関とすることとなっています。

高知学園大学は令和元年12月20日付け、高知学園短期大学は令和元年9月20日付けで高等教育の修学支援新制度の対象機関として認定を受けました。

■文部科学省 高等教育の修学支援新制度ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm



【日本学生支援機構 奨学金】

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ、学生等が安心して学べるよう、「貸与」または「給付」する制度です。

■独立行政法人日本学生支援機構

<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>



【高知県保育士修学資金貸付】

この制度は指定保育士養成施設に在学し、保育の資格取得を目指す学生に対し就学資金を貸付け、もってこれらの者の修学を容易にすることにより、質の高い保育士の養成確保に資することを目的とする制度です。

■社会福祉法人高知県社会福祉協議会

<http://www.kochiken-shakyo.or.jp/>



【高知県歯科衛生士養成奨学金制度】

この奨学金は、卒業後、高知県内の指定医療機関で、歯科衛生士の業務に従事する意思のある者に対し、奨学金を貸し付けてその修学を支援し、高知県の歯科衛生士の確保充実を図ることを目的とするものです。奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間、県内の指定医療機関において歯科衛生士として業務に従事することで、奨学金の償還が免除されます。

■高知県健康政策部 健康長寿政策課

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131601/2018031600036.html>



【高知県看護師等養成奨学金制度】

この奨学金は、卒業後、高知県内の指定医療機関等又は訪問看護ステーションで、看護師・准看護師の業務に従事する意思のある者に対し、奨学金を貸し付けてその修学を支援し、高知県の看護師等の確保充実を図ることを目的とするものです。

奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間、県内の指定医療機関または訪問看護ステーションにおいて看護師・准看護師として業務に従事することで、奨学金の償還が免除されます。

■高知県健康政策部医療政策課

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131301/kango-syougakukinn.html>

